

## 留学生センター日本語コースにおける授業評価 : 2013年度春学期の授業評価アンケート報告

著者	加納 千恵子
雑誌名	筑波大学留学生センター日本語教育論集
号	29
ページ	245-282
発行年	2014-02
その他のタイトル	Evaluation of the Japanese Language Program at the International Student Center : a report of the course evaluation survey in Spring, 2013
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2241/121154">http://hdl.handle.net/2241/121154</a>

# 留学生センター日本語コースにおける授業評価

## — 2013年度春学期の授業評価アンケート報告 —

加納 千恵子

### 要 旨

本稿では、2013年度春学期末に実施した筑波大学留学生センターの日本語コースの授業評価アンケートの結果についてその概要を報告する。アンケートの内容は、2012年1学期末に実施された調査とほぼ同じであったが、2013年度から大学が3学期制から2学期制へ移行したため、15週のコースに対する意見および希望するコースの長さに関する意見を聞く項目が加えられた。その結果、授業の内容、教え方、レベルなどに関して、総じて受講生の満足度は高いことがわかった。

【キーワード】 授業評価 授業内容 教え方 レベル 満足度

## Evaluation of the Japanese Language Program at the International Student Center : a report of the course evaluation survey in Spring, 2013

KANO Chieko

[Abstract] This paper reports on the results of a course evaluation survey of the Japanese language program at the International Student Center in spring semester, 2013. The survey sheet consists of almost the same questions as a survey conducted in 2012. The 2013 survey was the first conducted after the shift from a three-term system to a two-semester system. The results of the survey indicate that most of the students were satisfied with the course contents, ways of teaching, levels, and so on.

[Keywords] course evaluation, contents of the classes, way of teaching, levels, satisfaction

## 1. はじめに

筑波大学留学生センターでは、本学の留学生を対象とした日本語コースを開設して以来、受講生による授業評価アンケートを続け、コースカリキュラムの改善を繰り返してきた<sup>1</sup>。受講者の意見を聞くことにより、各コース、クラスにおける教材の選び方や教授法等を検討し、教師の教授技術の向上、授業内容の改善などを図るためである。2012年度も1学期終了時に全コース一斉に授業評価アンケート調査を行い、その結果は加納(2013)<sup>2</sup>に報告されている。

そして、筑波大学は2013年度から、従来の3学期制から2学期・6モジュール制へと移行し、それに伴って留学生センターの日本語科目も、学期10週から15週のプログラムに改編された。また、海外の協定校から来日する短期留学生のための総合日本語科目(単位有り)と、本学の正規生や研究留学生を対象とする補講日本語科目(単位なし)に分けられ、両方とも全学の科目管理システムTWINSに載せられることとなった。

そこで、2013年春学期に2学期制の下での最初の日本語コースの授業評価アンケートを実施し、新制度の日本語プログラムの改善を図るための資料とすることにした。本稿では、2013年度春学期末に実施された授業評価アンケート調査の結果について報告する。

## 2. 授業評価アンケートの調査項目と実施要領

アンケート用紙は、AとB、2つの質問項目から構成されている。Aでは、授業の①シラバス・スケジュール、②宿題、③テスト・クイズ、④教師の教え方、⑤成績評価の方法、⑥日本語の上達に役立ったかどうかという6つの質問(2012年度1学期末に実施した授業評価アンケートのBの項目と同じ)に、⑦a.15週というコースの長さについてどう思うか、⑦b.希望するコースの長さはどの程度かという2つの質問を加えたものである。Bは、①受講した授業のレベルが自分に合っていたか、②授業で使われた教科書・教材が適切であったか、③その授業に満足したかどうか、という3つの質問と、授業に対する感想を自由記述する欄(2012年度1学期末に実施した授業評価アンケートのCの項目と同じ)が設けられている。すなわち、2012年度1学期末に実施した授業評価アンケートから、Aの授業全般に関する4つの質問<sup>3</sup>を取り除き、B、Cの項目にコースの長さに関する2つの質問を加えたものが2013年度春学期末の授業評価アンケート調査紙である。受講生には、日本語版アンケート用紙の裏にその英訳あるいは中国語訳をつけたものを配布した。

## 3. 授業評価アンケートの回答者数および回収率

表1は初級および中級入門レベルの日本語科目の回答者数と履修登録者数および今回のアンケートの回収率である。左側の補講の欄は、初級日本語コースJ100～J300各2クラスずつと、中級入門コース(J460は話す・聞く、J470は読む・書く)各2クラスの回収結果

であり、右側の総合の欄は、短期留学生のための単位有り科目、総合日本語N101～N301（各1クラス）の回収結果である。総じて、短期留学生向けの単位有り科目の方がアンケート回収率が高かったことが分かる。

表1 初級及び中級入門レベルの回答者

補講	回答者	登録者	回収率	総合	回答者	登録者	回収率
J100-1&2	8	19	42%	N101	5	5	100%
J200-1&2	21	36	58%	N201	3	6	50%
J300-1&2	18	30	60%	N301	10	15	67%
J460-1&2	18	24	75%				
J470-1&2	15	24	63%				
合 計	80	133	60%	合 計	18	26	69%

補講日本語コースはJ100からJ800まで全8レベルが設定されており、J100-300が初級、400が中級入門、500-700が中級、800が上級である。一方、総合日本語科目（単位有り）の方は、N100からN500までの全5レベルで、N100-200が初級、300が中級入門、400が中級、500が上級とされているが、実際のレベルはその学期に受講する学生によって一定ではない。

中上級レベルでは技能別にクラスが開設されており、各技能クラスの受講は任意であるため、回収率は表2～表4のようにクラスによって異なる。

表2 文法クラスおよび話すクラスの回収率

文法	回答者	登録者	回収率	話す	回答者	登録者	回収率
J510-1&2	31	37	84%	J520-1&2	15	17	88%
J610-1&2	43	48	90%	J620-1&2	8	17	47%
J710-1&2	32	32	100%	J720-1&2	7	7	100%
J810	17	18	94%	J820	1	2	50%
合 計	123	135	91%	合 計	31	43	72%

表3 聞くクラスおよび読むクラスの回収率

聞く	回答者	登録者	回収率	読む	回答者	登録者	回収率
J530-1&2	21	23	91%	J540-1&2	16	18	89%
J630-1&2	26	31	84%	J640-1&2	13	18	72%
J730-1&2	12	13	92%	J740-1&2	8	12	67%
J830	9	9	100%	J840	5	5	100%
合 計	68	76	89%	合 計	42	53	79%

表4 書くクラスおよび漢字クラスの回収率

書く	回答者	登録者	回収率	漢字	回答者	登録者	回収率
J550-1&2	25	30	83%	K100-1&2	4	14	29%
J650-1&2	22	33	67%	K200-1&2	10	13	77%
J750-1&2	13	20	65%	K300-1&2	6	14	43%
J850	4	5	80%	K400-1&2	11	19	58%
合 計	68	76	89%	K500-1&2	8	12	67%
				K600-1&2	18	23	78%
				K700	10	13	77%
				K800	7	7	100%
				合 計	42	53	79%

2012年度の授業評価アンケートでは、文法クラスの平均回収率が55%、話すクラスが83%、聞くクラスが80%、読むクラスが84%、書くクラスが79%、漢字クラスが75%の平均回収率であったのに対して、2013年度の平均回収率は、文法クラスが91%、聞くクラスと書くクラスが89%、話すクラスと漢字クラスが79%であり、全般的にかなり高かったと言える。

表5は、今年度はじめて開設された目的別クラス<sup>4</sup>の回収率である。

表5 目的別クラスの回収率

	回答者	登録者	回収率
J510-1&2	31	37	84%
J610-1&2	43	48	90%
J710-1&2	32	32	100%
J810	17	18	94%
合 計	123	135	91%

目的別	回答者	登録者	回収率	目的別	回答者	登録者	回収率
A911	9	11	82%	B921	8	11	73%
A912	2	3	67%	B922	6	14	43%
A913	2	6	33%	B923	8	13	62%
A914	5	7	71%				
合 計	18	27	67%	合 計	22	38	58%

目的別	回答者	登録者	回収率	目的別	回答者	登録者	回収率
C931	13	17	76%	S941	7	8	88%
C932	2	3	67%	S942	15	21	71%
C933	5	7	71%	S943	4	7	57%
合 計	68	76	89%	合 計	26	36	72%

A911～A914はアカデミック日本語のクラス、B921～B923はベーシック日本語のクラス、C931～C933はキャリア日本語のクラス、S941～S943は社会文化日本語のクラスであった。

表 6 は、学群の短期留学生向け（単位有り）科目の回収率である。N101～N301は週 5 コマの初級の総合日本語コース、中上級レベルの技能別クラスは週 1 コマで、N411とN511は文法、N461とN561は話す・聞く、N471とN571は読む・書く、そしてK101～K801は漢字のクラスであった。

表 6 短期留学生向け日本語科目（単位有り）の回収率

総合	回答者	登録者	回収率	漢字	回答者	登録者	回収率
N101	5	5	100%	K101	3	3	100%
N201	3	6	50%	K201	3	3	100%
N301	10	15	67%	K301	2	2	100%
N411	7	10	70%	K401	1	1	100%
N461	7	9	78%	K501	7	11	64%
N471	6	8	75%	K601	6	6	100%
N511	11	13	85%	K701	9	10	90%
N561	3	5	60%	K801	5	5	100%
N571	11	11	100%				
合 計	63	82	77%	合 計	36	41	88%

今年度はじめて学群の短期留学生向けに開設された単位有り科目は、春学期に来日する短期留学生が少なかったために、上記のように各クラスの受講人数が少なかったが、単位取得を目指す受講生たちの参加度は非常に高く、アンケート回収率も総じて高かった。

#### 4. 授業評価アンケートの結果

2013年度の授業評価アンケートは、各日本語コース・クラスの授業の内容や方法などに関する 6 つの質問項目（A1～A6）と、コースの期間に関する 2 つの質問項目（A7a、A7b）、そしてレベルや教科書・教材、満足度に関する 3 つの質問項目（B1～B3）から構成され

ていた。最後に日本語コース・クラスについて自由にコメントする欄もあったが、本稿では5段階の選択肢による評定結果のみについて扱う。4.1で、各コース・クラスの授業の内容に関する質問項目に対する回答結果、4.2でコースの期間に関する回答結果、4.3でレベルと満足度に関する回答結果について報告する。

#### 4.1 日本語コース・クラスの授業内容に関する回答結果

各コース・クラスの授業の内容や方法、成績評価などに関する以下の6つの質問項目に対して「4 とても」「3 だいたい」「2 あまり」「1 ぜんぜん」「0 わからない」の5段階評定を行った。

- A1. シラバスやスケジュールはよくわかりましたか。
- A2. 宿題は役に立ちましたか。
- A3. テストやクイズは役に立ちましたか。
- A4. 先生の教え方はよかったですか。
- A5. 成績の評価のしかたはよくわかりましたか。
- A6. あなたの日本語をよくするために、授業は役に立ちましたか。

##### 4.1.1 初級の補講日本語コースの結果

J100～J300の初級日本語コース（週5コマ）の学習者のAの6項目についての回答結果を図4-1-1～図4-1-3に示す。

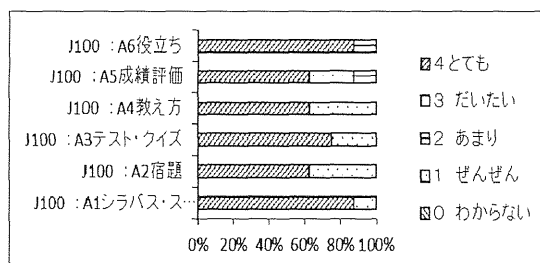


図4-1-1 授業内容 (J100)

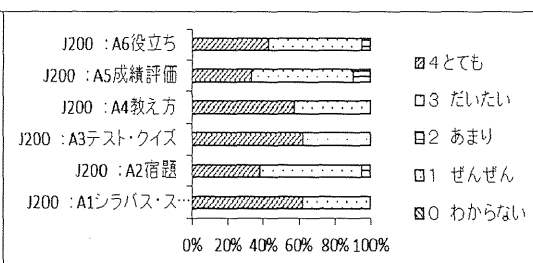


図4-1-2 授業内容 (J200)

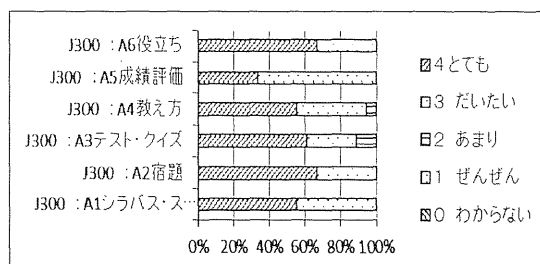


図4-1-3 授業内容 (J300)

J100レベルでは、A1～A6の質問に対して「4 とても」と回答している受講者が他のレベルより多く、2012年度の評価結果と比べて大きな変化である。これは、J100の授業内容が改善されたこと、およびコースの長さが15週に伸びたことによって受講者の授業内容への理解が深まったことを示唆していると思われる。J200、J300レベルにおいても、「4 とても」と「3 だいたい」という回答がほとんどであり、総じて授業内容への評価は高いと言えよう。

#### 4. 1. 2 中上級の補講技能別クラスの結果

セクションAの6つの質問項目に対する回答結果を、＜文法クラス＞、＜話す・聞くクラス＞、＜読む・書くクラス＞に分けて報告する。なお、J400の中級入門レベルは、J460（話す・聞く週2コマ）とJ470（読む・書く週3コマ）に分かれており、特に文法クラスは設けていないため、＜話す・聞くクラス＞と＜読む・書くクラス＞の中に含める。

##### ＜中上級「文法」クラス＞

J510（31名）、J610（43名）、J710（32名）、J810（17名）の文法クラスの回答結果は、図4-1-4～図4-1-7のようになった。

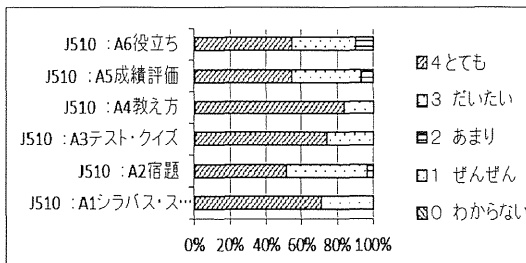


図4-1-4 授業内容 (J510文法)

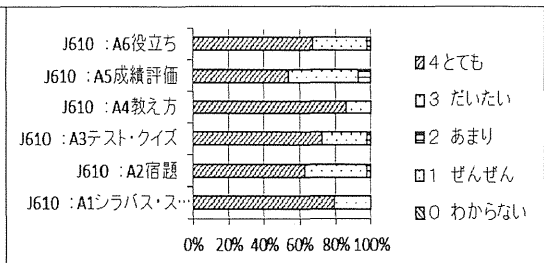


図4-1-5 授業内容 (J610文法)

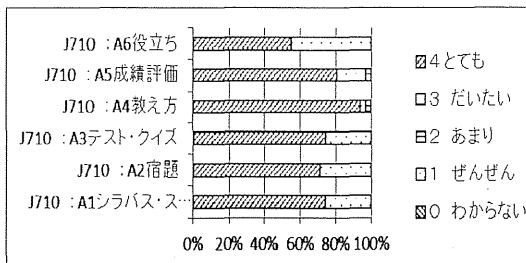


図4-1-6 授業内容 (J710文法)

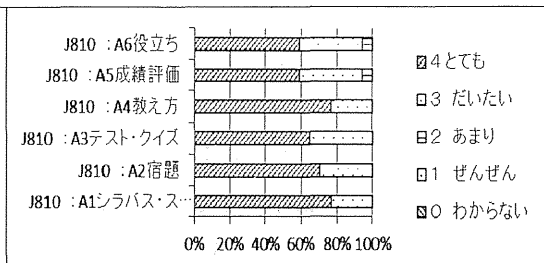


図4-1-7 授業内容 (J810文法)

J510～J810の中上級文法クラスでは、「とても」の回答の割合が高く、いずれ項目の評価も高くなっていることがわかる。



# <中上級「話す」クラスと「聞く」クラス>

J460話す・聞く(18名)、J520話す(15名)、J620話す(8名)、J720話す(7名)、J820話す(1名)の回答結果を、図4-1-8～図4-1-12に示す。

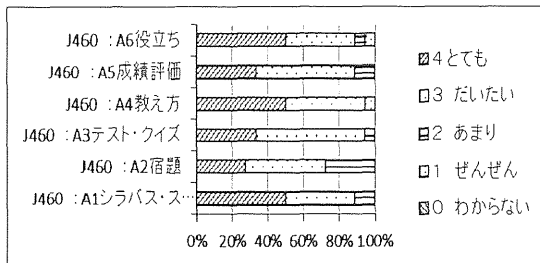


図4-1-8 授業内容 (J460話す・聞く)

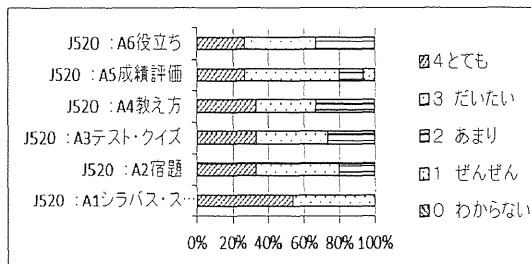


図4-1-9 授業内容 (J520話す)

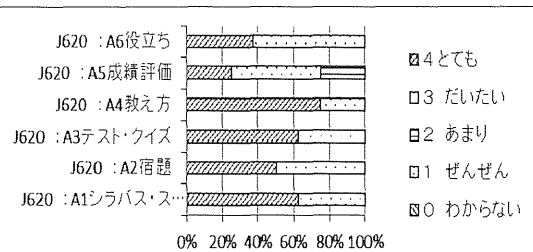


図4-1-10 授業内容 (J620話す)

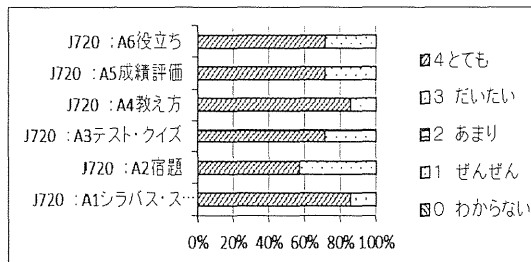


図4-1-11 授業内容 (J720話す)

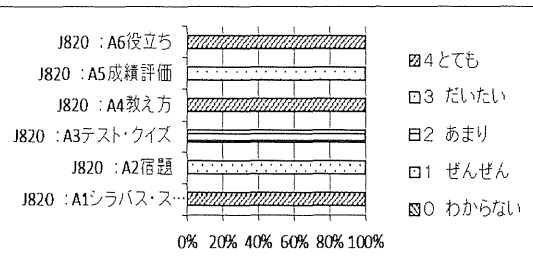


図4-1-12 授業内容 (J820話す)

中級入門のJ460「話す・聞く」クラスと中級の「話す」クラスJ520では、「とても」の割合が少し減り、全体的には肯定的な評価が多いものの、項目によって「あまり」という回答も若干見られた。J620とJ720では肯定的な評価が大半を占めている。上級のJ820は、回答者数が1名であるため、個人的な評価とみるべきだろう。総じて、「教え方」と「シラバス・スケジュール」の評価が高く、それに比べると、「成績評価」や「テスト・クイズ」が低いという傾向が見られた。

J530聞く(21名)、J630聞く(26名)、J730聞く(12名)、J830聞く(9名)の回答結果を、

図4-1-13～図4-1-16に示す。

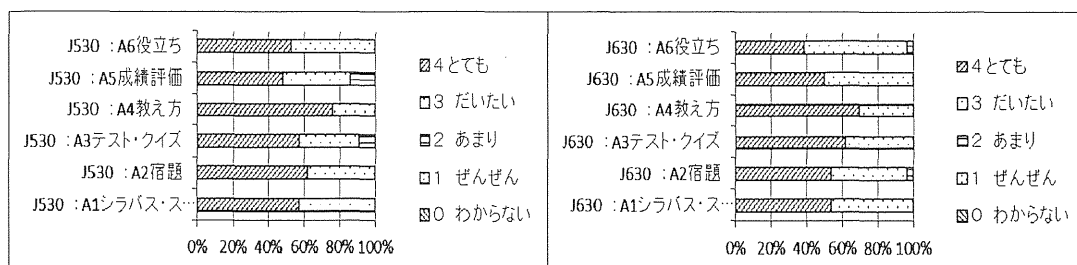


図4-1-13 授業内容 (J530聞く)

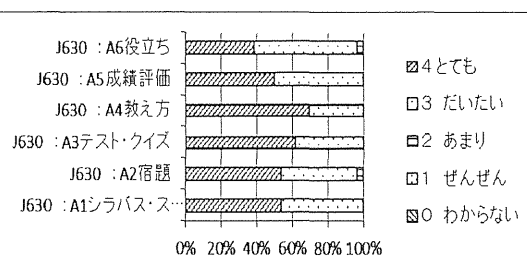


図4-1-14 授業内容 (J630聞く)

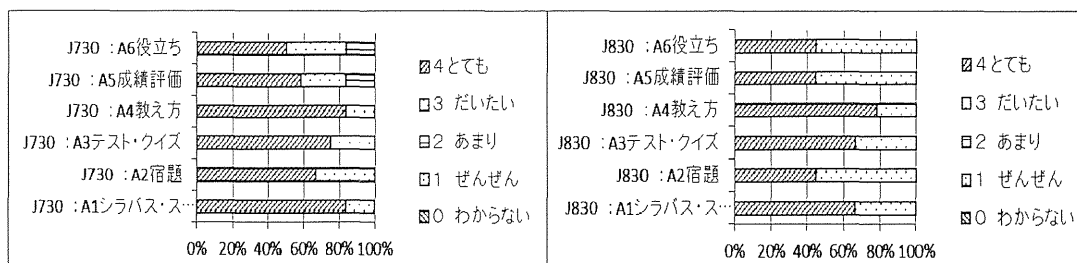


図4-1-15 授業内容 (J730聞く)

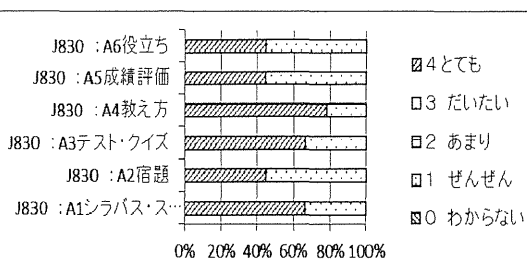


図4-1-16 授業内容 (J830聞く)

「聞く」クラスでは、どのレベルでも、「とても」と「だいたい」を合わせた肯定的回答がほとんどであり、総じて高い評価を受けているが、「話す」クラスの結果と同様、「教え方」や「シラバス・スケジュール」の評価が高いのと比べると、「成績評価」や「テスト・クイズ」は若干低くなっている。

#### <中上級「読む」クラスと「書く」クラス>

J470読む・書く (15名)、J540読む (16名)、J640読む (13名)、J740読む (8名)、J840読む (5名)の回答結果、およびJ550書く (25名)、J650書く (22名)、J750書く (13名)、J850書く (4名)の回答結果は、図4-1-17～図4-1-25のようになった。

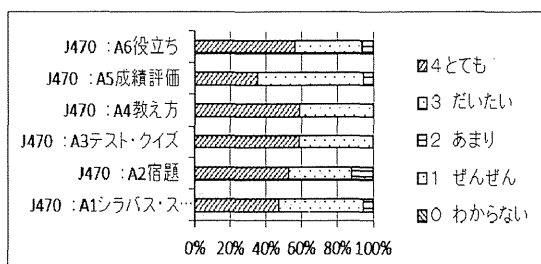


図4-1-17 授業内容 (J470)

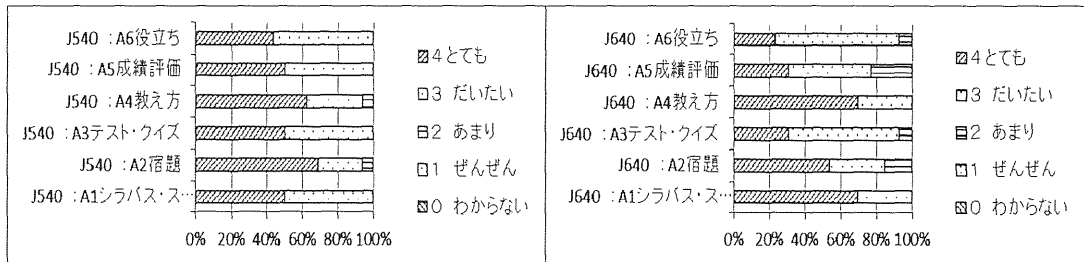


図4-1-18 授業内容 (J540読む)

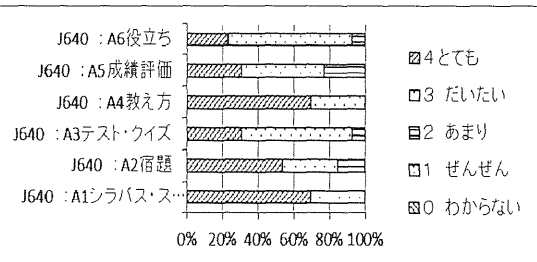


図4-1-19 授業内容 (J640読む)

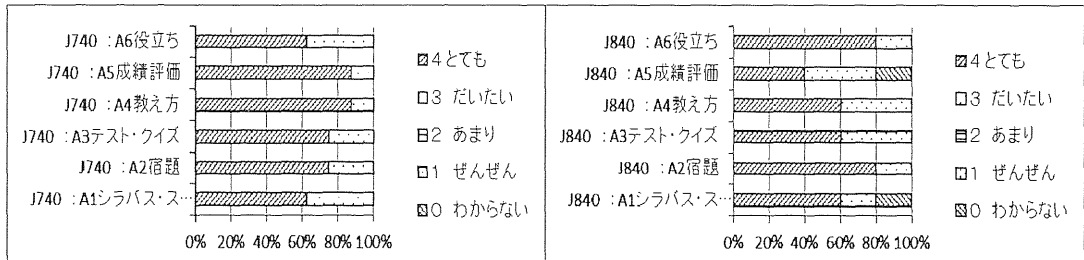


図4-1-20 授業内容 (J740読む)

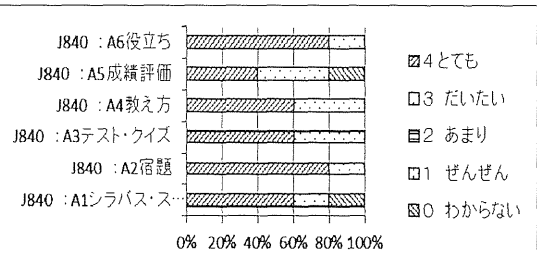


図4-1-21 授業内容 (J840読む)

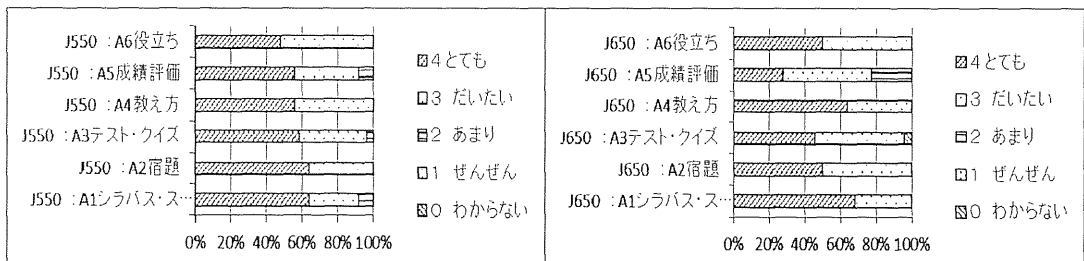


図4-1-22 授業内容 (J550書く)

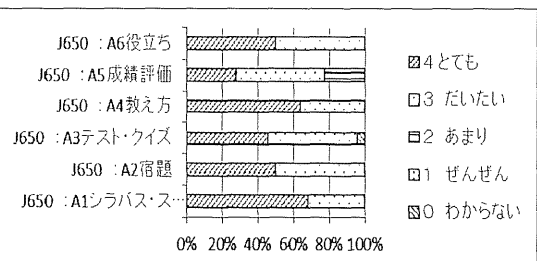


図4-1-23 授業内容 (J650書く)

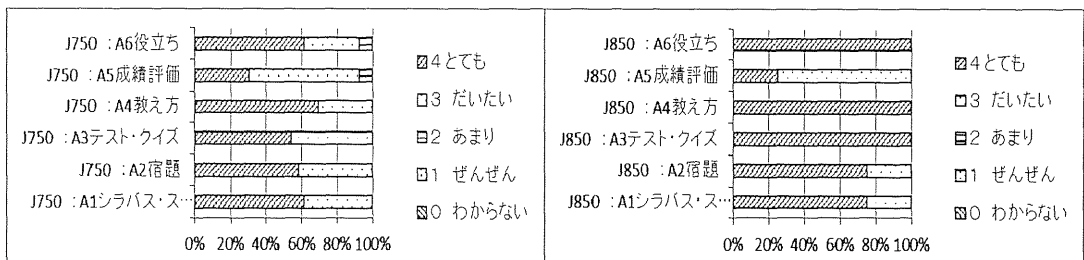


図4-1-24 授業内容 (J750書く)

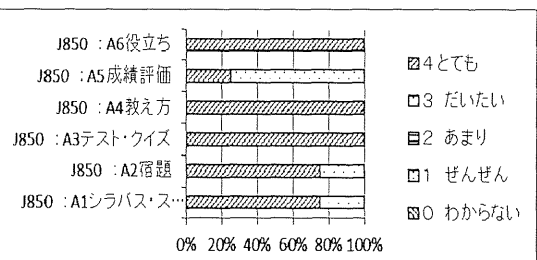


図4-1-25 授業内容 (J850書く)

中級入門のJ470「読む・書く」クラスと中上級の「読む」クラスJ540～J840では、総じてどの項目も評価が高いが、特にJ740では、「とても」の割合が非常に高くなっている。中上級の「書く」クラスJ550～J850も総じて評価が高く、特に上級のJ850は非常に高い評価を得ている。ただ、どのレベルにおいても、他の質問項目と比べて、「成績評価」という質問項目への評価が低いという傾向が見られた。

# <漢字クラス>

K100 (4名)、K200 (10名)、K300 (6名)、K400 (11名)、K500 (8名)、K600 (18名)、K700 (10名)、K800 (7名) の漢字クラスの回答結果を図4-1-26～図4-1-33に示す。

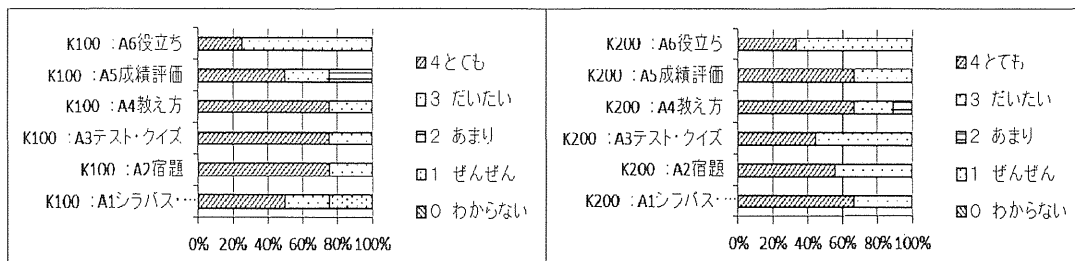


図4-1-26 授業内容 (K100漢字)

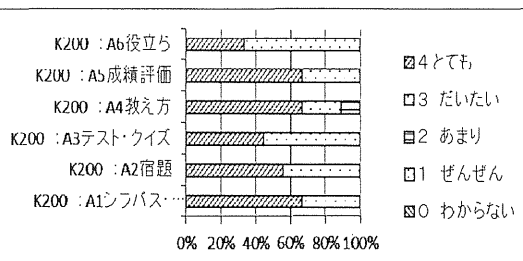


図4-1-27 授業内容 (K200漢字)

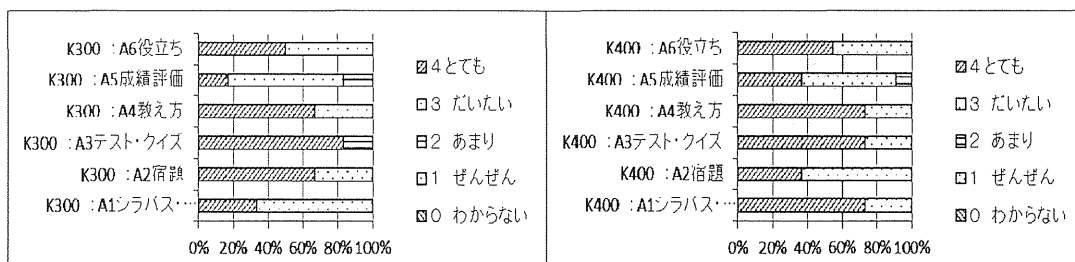


図4-1-28 授業内容 (K300漢字)

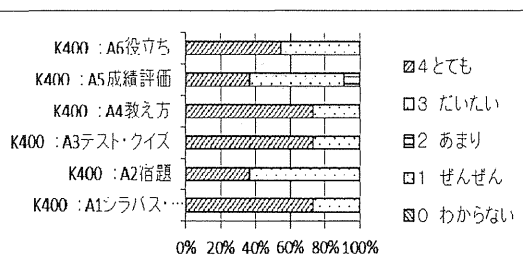


図4-1-29 授業内容 (K400漢字)

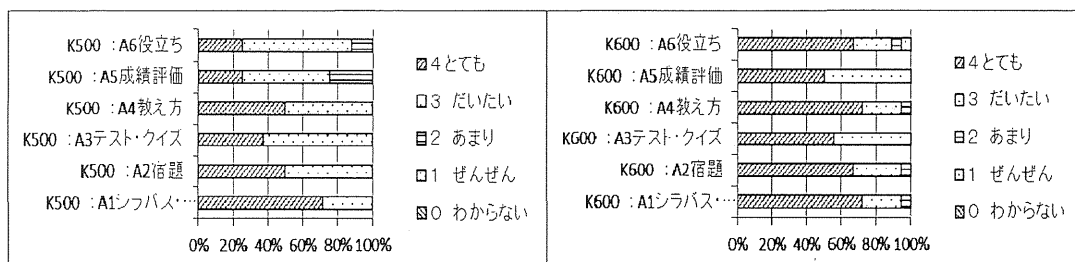


図4-1-30 授業内容 (K500漢字)

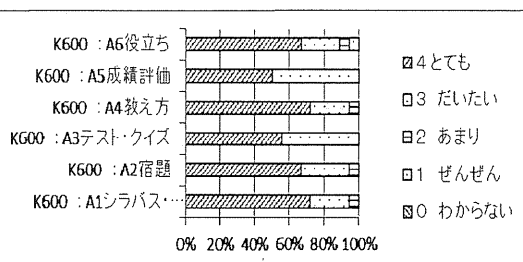


図4-1-31 授業内容 (K600漢字)

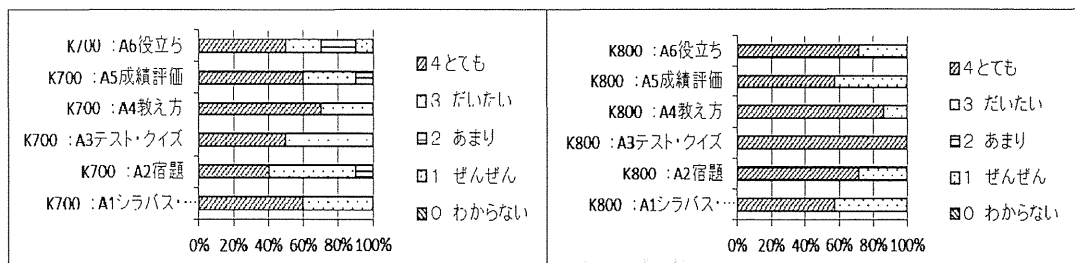


図4-1-32 授業内容 (K700漢字)

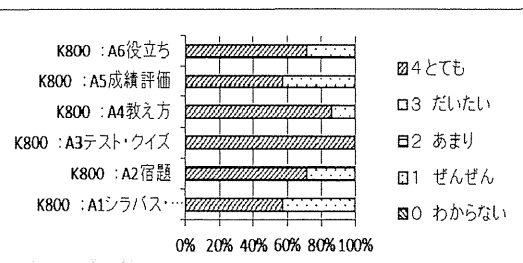


図4-1-33 授業内容 (K800漢字)

漢字クラスにおいて、各項目に対する受講者の評価は比較的高いが、500レベルで中級のテキスト(『Intermediate Kanji Book Vol.1』)に入る際と、700レベルで上級のテキスト(『Intermediate Kanji Book Vol.2』)に入る際に、他のレベルと比べると、若干評価が下がる傾向が見られるのは、2012年度の授業評価アンケート結果と共通している。これは、それまでのレベルと学習方法が変わることについての受講者の戸惑いを示唆しているのではないと思われる。

目的別クラスのア911～A914(アカデミック日本語)、B921～B923(ベーシック日本語)、C931～C933(キャリア日本語)、S941～S943(社会文化日本語)のクラスについては、他の日本語コース・クラスとは異なり、初めて開設されたクラスであり、授業内容も様々で、回答者数も少なかったことから、ここに結果のグラフを挙げることはしない。授業評価アンケートの結果については、教員が成績処理を行った後、自分の担当した授業の結果を閲覧できるようになっており、各授業の改善に役立てることとした。

#### 4.1.3 短期留学生向けの日本語科目に関する回答結果

今年度から、学群の短期留学生のための総合日本語科目(単位有り)が補講日本語科目とは別に開講された。N101(5名)、N201(3名)、N301(10名)は初級の総合日本語コースであり、N411(7名)とN511(11名)は中上級レベルの文法、N461(7名)とN561(3名)は話す・聞く、N471(6名)とN571(11名)は読む・書くクラスである。そして、漢字クラスは、K101(3名)、K201(3名)、K301(2名)、K401(1名)、K501(7名)、K601(6名)、K701(9名)、K801(5名)であった。

補講日本語コースと比べると、春学期の受講者数は少なかったが、日本語科目の単位を取得し協定校に持って帰る学生であるため、補講と比べると、出席率も高く、学習意欲も高いことが予想され、今回のアンケートの回収率も高かった。総合日本語(Nナンバー)の回答結果を図4-1-34～図4-1-40に示す。

初級の総合日本語コースの中では、N201コースの評価結果が、他のコースと比べて低くなっている。また、単位取得科目であるため、補講コースの結果と比べると、総じて「成績評価」に対する評価が厳しく、「あまり」という回答が目立つ。

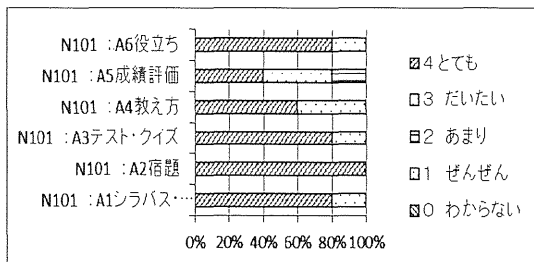


図4-1-34 授業内容 (N101)

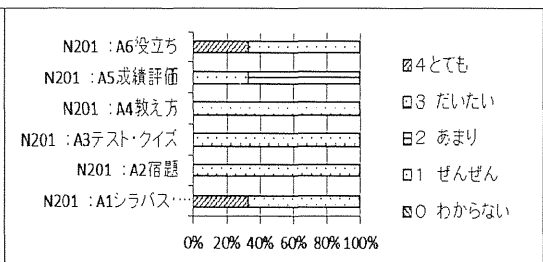


図4-1-35 授業内容 (N201)

留学生センター日本語コースにおける授業評価

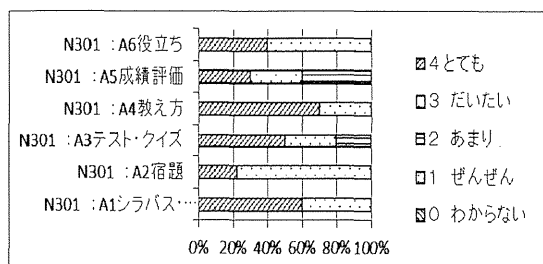


図4-1-34 授業内容 (N301)

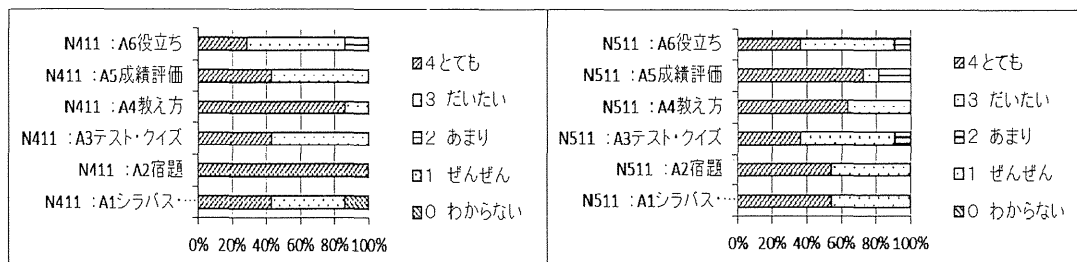


図4-1-35 授業内容 (N411文法)

図4-1-36 授業内容 (N511文法)

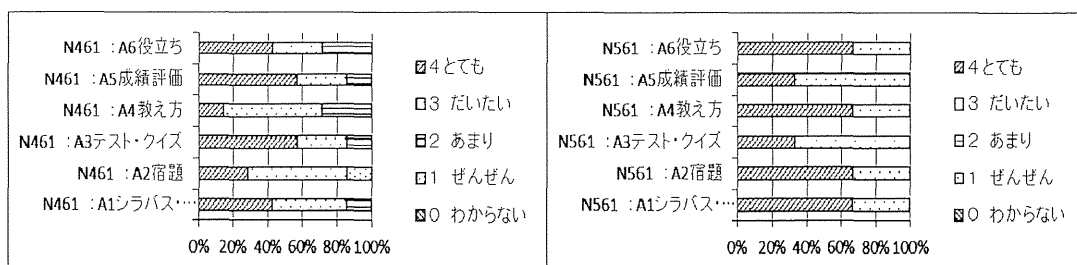


図4-1-37 授業内容 (N461話す聞く)

図4-1-38 授業内容 (N561話す聞く)

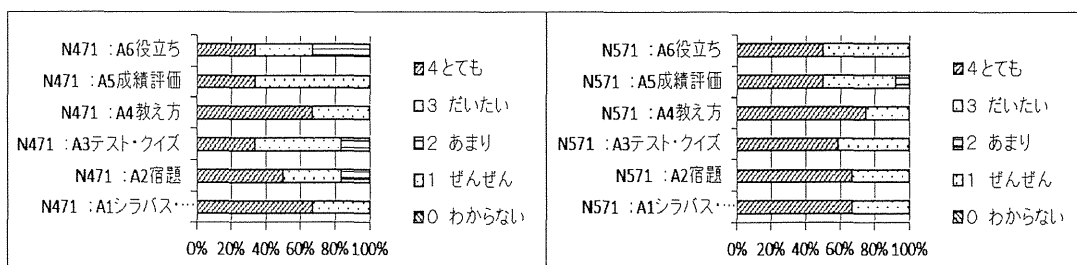


図4-1-39 授業内容 (N471読む書く)

図4-1-40 授業内容 (N571話す聞く)

技能別クラスにおいても、評価の高い項目と低い項目の結果に凸凹が見られるのが補講コースの回答結果と異なる、単位有り科目の特徴であった。

以下に、漢字(単位有り)クラスの回答結果図4-1-41～図4-1-48を示す。

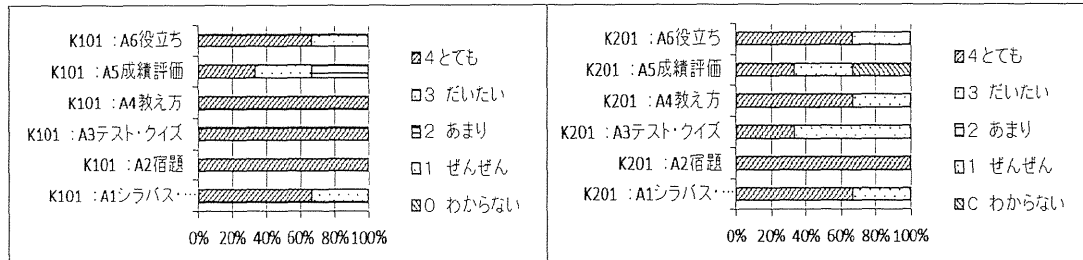


図4-1-41 授業内容 (K101漢字)

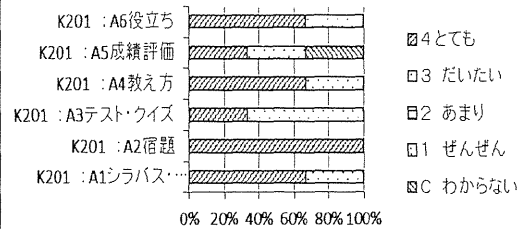


図4-1-42 授業内容 (K201漢字)

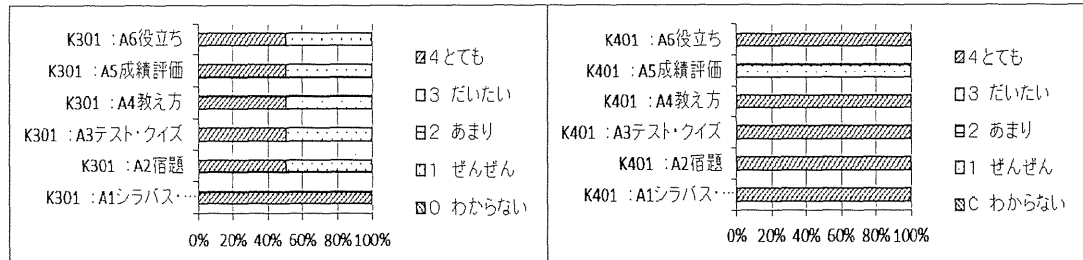


図4-1-43 授業内容 (K301漢字)

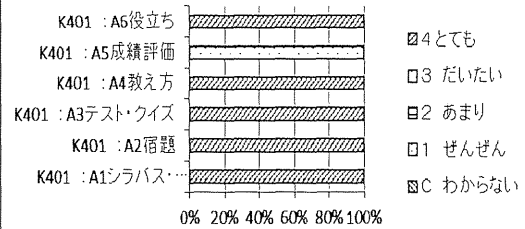


図4-1-44 授業内容 (K401漢字)

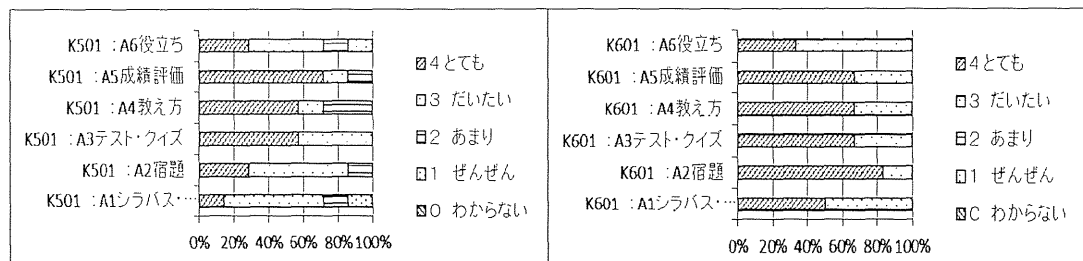


図4-1-45 授業内容 (K501漢字)

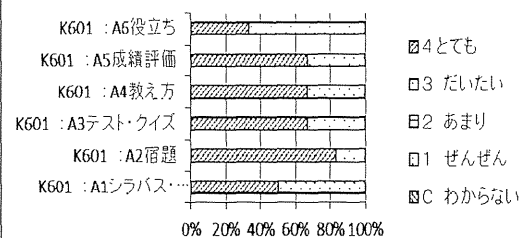


図4-1-46 授業内容 (K601漢字)

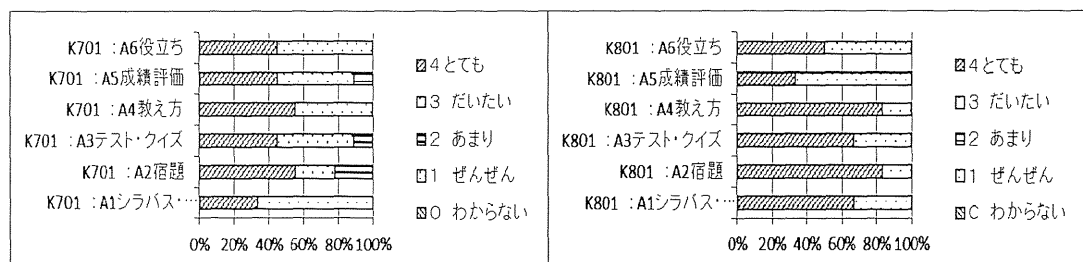


図4-1-47 授業内容 (K701漢字)

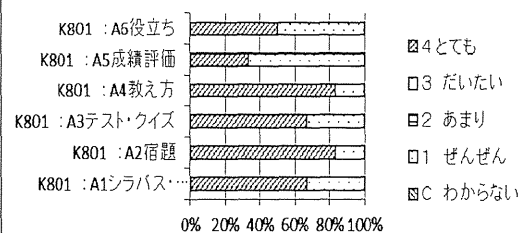


図4-1-48 授業内容 (K801漢字)

漢字クラスの回答結果を見ると、総じて評価が高いが、K401については、受講者が1名のみだったことから、あくまで個人評価と考えるべきであろう。補講漢字クラスと同様、500レベルと700レベルにおいて若干評価が下がる傾向が見られるのは、やはり初級から中級、そして中級から上級に上がる際に学習方法が変わることに対する受講者の困難さを示

峻していると思われる。このような時期をうまく乗り越えるための方策が求められている。

## 4.2 日本語コースの期間に関する回答結果

授業評価アンケートのセクションAの最後の質問2つは、学期の長さに関する内容であった。15週というコースの長さについてどう思うかという質問（A7-a）に対しては、「4 とても長い」「3 少し長い」「2 ちょうどいい」「1 短い」「0 わからない」の5つから選択して回答、日本語のコース・クラスの長さとしてどのくらいを希望するかという質問（A7-b）には、「15週」「13週」「12週」「10週」「9週」「5週」の6つから選択して回答する形になっていた。ただし、A7-bに関しては、初級以外のすべてのコース・クラスにおいて10週という回答が大半であったため、結果のグラフは省略する。

### <初級 補講日本語コース>

初級の補講J100～300の回答結果を図4-2-1～図4-2-3に示す。初級では、15週を「とても長い」という回答は少なく、「ちょうどいい」という回答が多かった。希望する長さとして、J100では15週という回答と10週という回答が半数ずつだったが、J200とJ300では10週を希望する人が多かった。

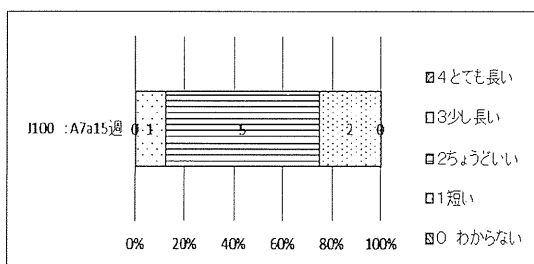


図4-2-1 長さへの回答 (J100)

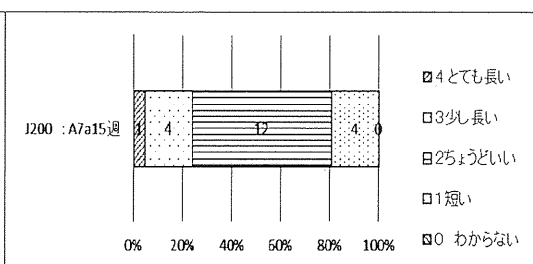


図4-2-2 長さへの回答 (J200)

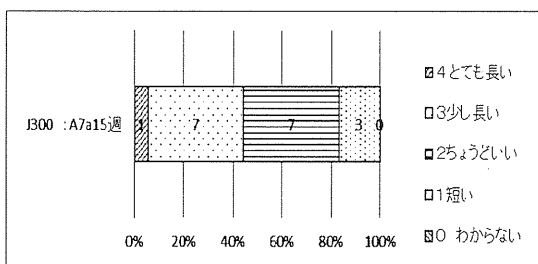


図4-2-3 長さへの回答 (J300)



### ＜中上級 補講文法クラス＞

中上級の補講文法クラスの回答結果を図4-2-4～図4-2-7に示す。文法クラスでも、15週を「とても長い」という回答は少なく、「ちょうどいい」という回答が多かったが、希望する長さとしては10週を希望する人が多かった。

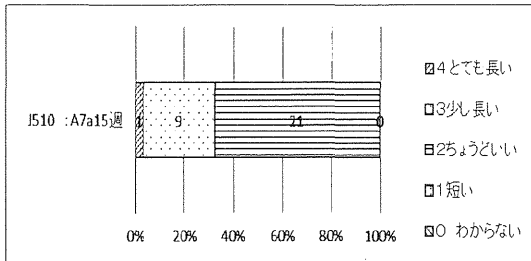


図4-2-4 長さへの回答 (J510)

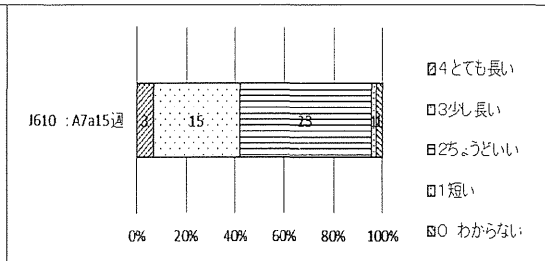


図4-2-5 長さへの回答 (J610)

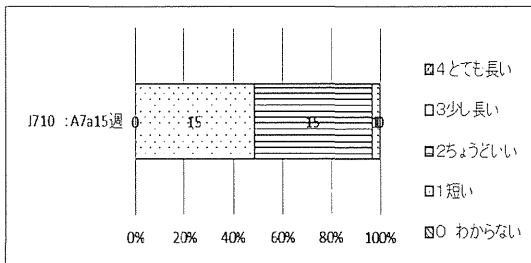


図4-2-6 長さへの回答 (J710)

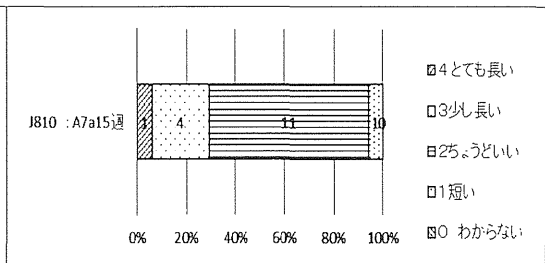


図4-2-7 長さへの回答 (J810)

### ＜中上級 話す・聞くクラス＞

中級入門のJ460 (話す・聞く) クラスと、中上級の補講「話す」クラスの回答結果を図4-2-8～図4-2-12に示す。ここでも、15週を「ちょうどいい」とする回答が多かったが、600レベルでは「少し長い」も同じくらい見られ、500レベルと700レベルでは「とても長い」という回答も若干見られた。また、希望する長さとしては10週を希望する人が多かった。800レベルの「話す」は回答者が1名のみだったので、個人的意見と捉えるべきであろう。

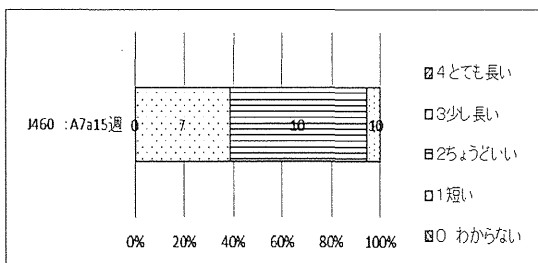


図4-2-8 長さへの回答 (J460話す・聞く)

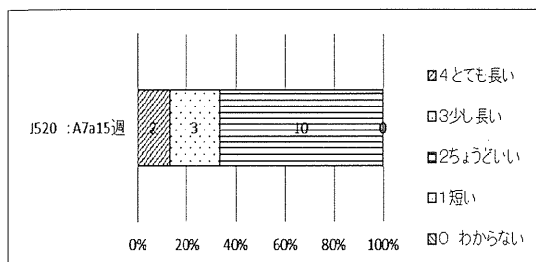


図4-2-9 長さへの回答 (J520話す)

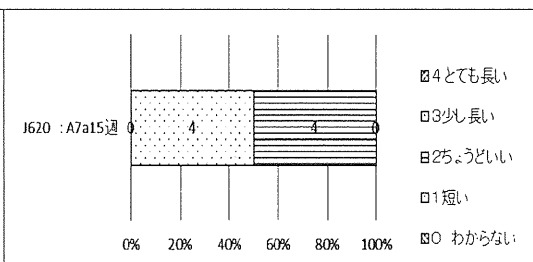


図4-2-10 長さへの回答 (J620話す)

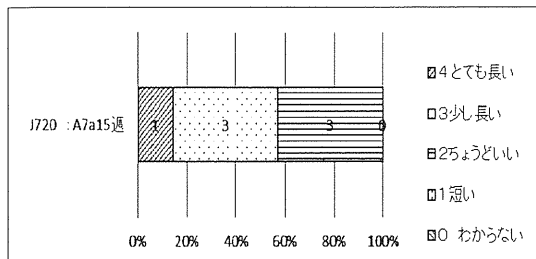


図4-2-11 長さへの回答 (J720話す)

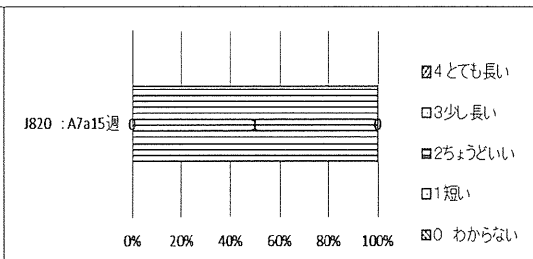


図4-2-12 長さへの回答 (J820話す)

中上級の補講「聞く」クラスの回答結果を図4-2-13～図4-2-16に示す。500レベルと800レベルでは「ちょうどいい」が圧倒的に多かったが、600レベルと700レベルでは、「少し長い」や「とても長い」も見られた。希望の長さは、全体としては、やはり「10週」が多かったが、500レベルでは、15週と5週を望む声もあった。

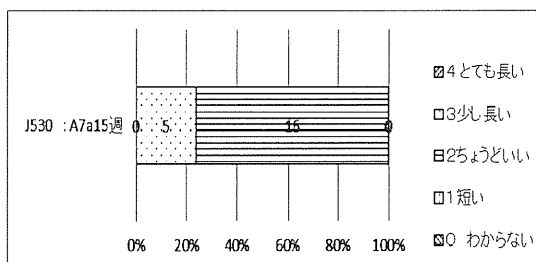


図4-2-13 長さへの回答 (J530聞く)

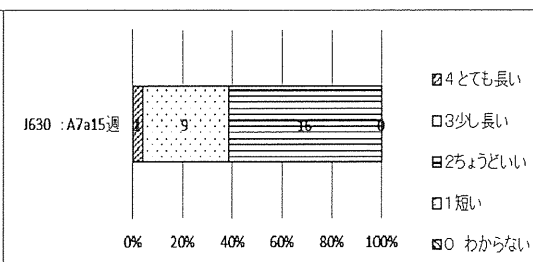


図4-2-14 長さへの回答 (J630聞く)

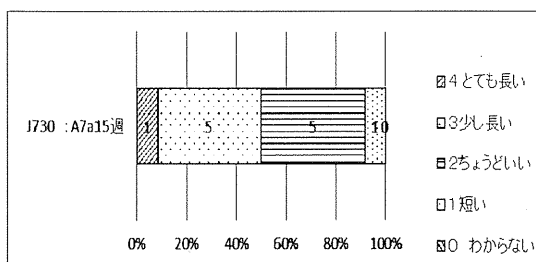


図4-2-15 長さへの回答 (J730聞く)

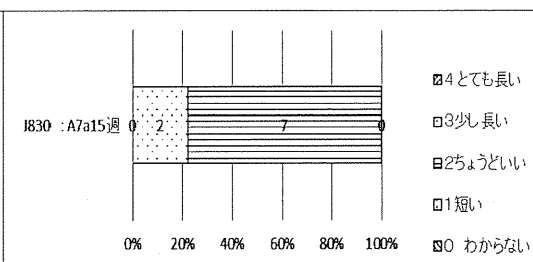


図4-2-16 長さへの回答 (J830聞く)

### ＜中上級 読む・書くクラス＞

中級入門のJ470（読む・書く）クラスと、中上級の補講「読む」クラスの回答結果を図4-2-17～図4-2-21に示す。ここでも、全体的には「ちょうどいい」とする意見が多かった。ただし、500レベルと800レベルでは「ちょうどいい」が圧倒的に多かったが、400レベルと600レベルでは「少し長い」もかなり見られ、700レベルでは「とても長い」という回答も見られた。また、希望する長さとしてはここでも10週を希望する人がほとんどだった。

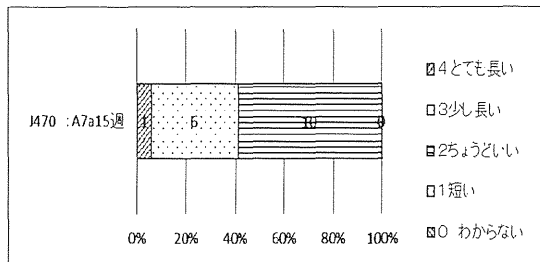


図4-2-17 長さへの回答（J470読む・書く）

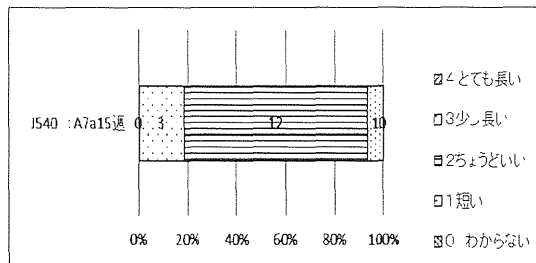


図4-2-18 長さへの回答（J540読む）

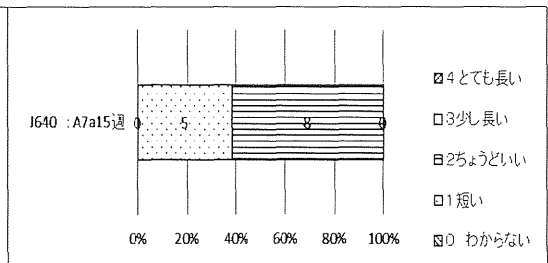


図4-2-19 長さへの回答（J640読む）

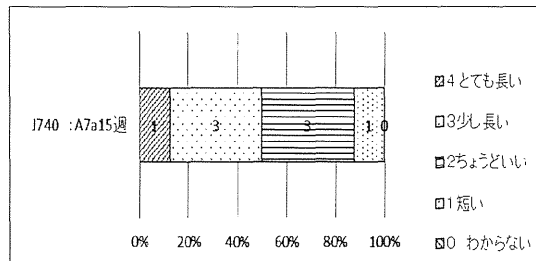


図4-2-20 長さへの回答（J740読む）

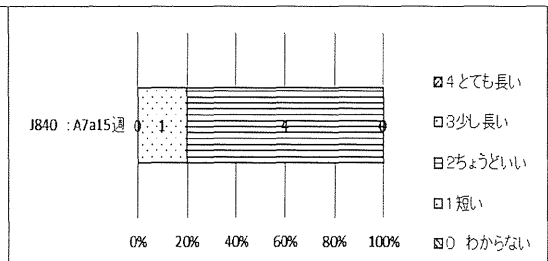


図4-2-21 長さへの回答（J840読む）

中上級の補講「書く」クラスの回答結果を図4-2-22～図4-2-25に示す。800レベルでは全員が「ちょうどいい」と回答し、希望する長さについては回答がなかった。他のレベルでは、「少し長い」や「とても長い」、「短い」も見られ、希望の長さとしては、「10週」

が多かったが、15週を望む声もあった。

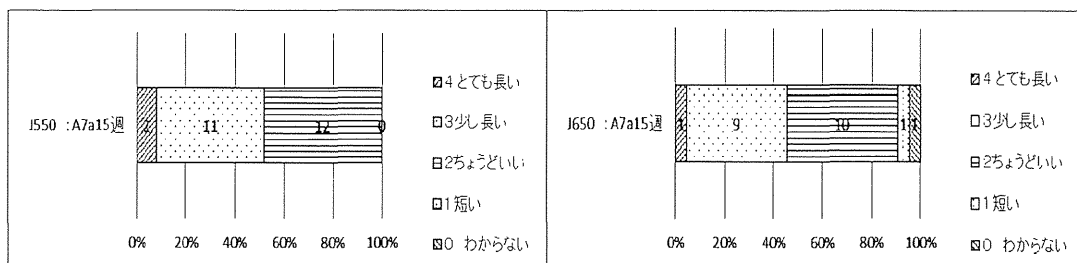


図4-2-22 長さへの回答 (J550書く)

図4-2-23 長さへの回答 (J650書く)

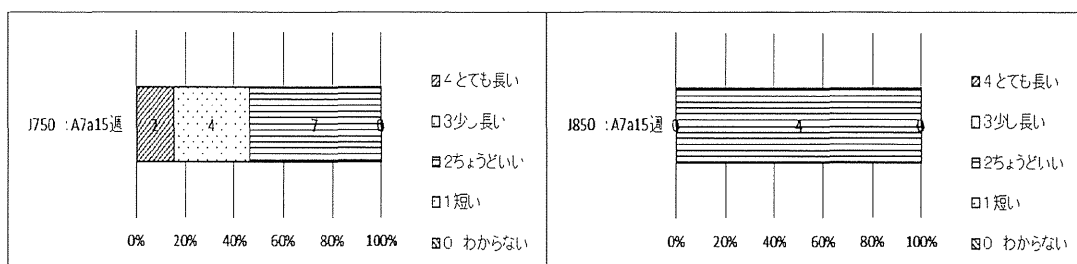


図4-2-24 長さへの回答 (J750書く)

図4-2-25 長さへの回答 (J850書く)

### <漢字クラス>

漢字クラスK100～K800の回答結果を図4-2-26～図4-2-33に示す。100レベルでは「少し長い」という回答が多かったが、200～600レベルでは「ちょうどいい」という回答が多かった。700レベルでは「とても長い」と「少し長い」が、800レベルでは「少し長い」が見られ、400レベルでは「短い」という回答も見られた。また、希望する長さはここでも10週がほとんどだったが、600レベルでは5週、800レベルでは12週を希望する声もあった。

目的別クラスについては、前節と同様、ここに結果グラフを挙げることはしないが、総じて「ちょうどいい」と、10週を希望する回答が多かった。

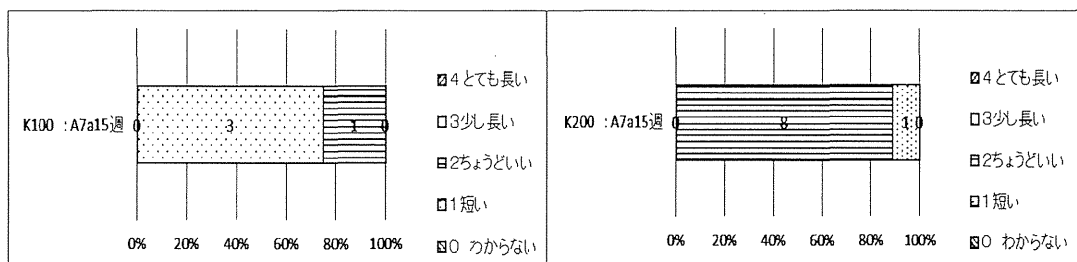


図4-2-26 長さへの回答 (K100漢字)

図4-2-27 長さへの回答 (K200漢字)

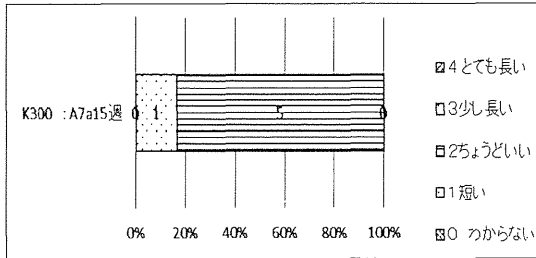


図4-2-28 長さへの回答 (K300漢字)

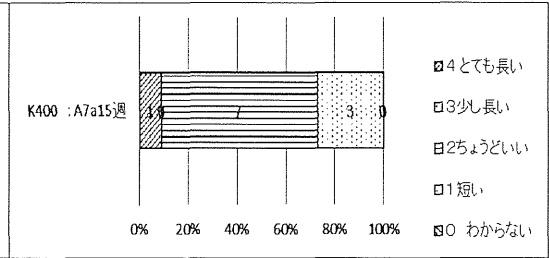


図4-2-29 長さへの回答 (K400漢字)

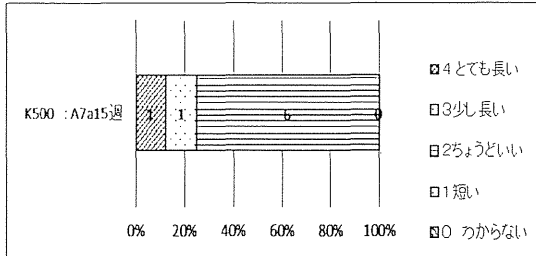


図4-2-30 長さへの回答 (K500漢字)

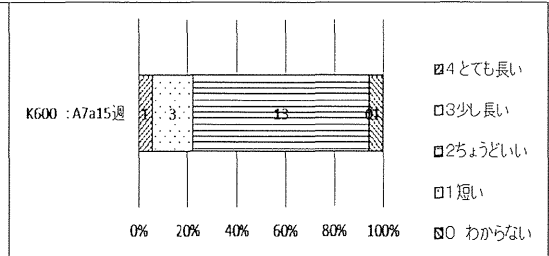


図4-2-31 長さへの回答 (K600漢字)

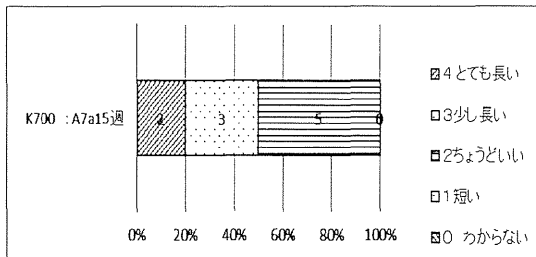


図4-2-32 長さへの回答 (K700漢字)

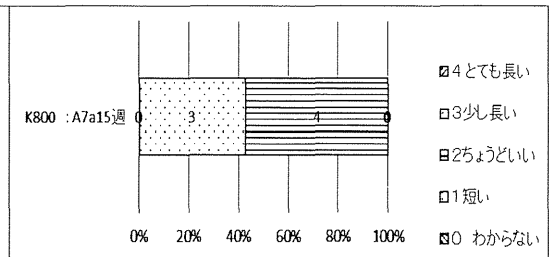


図4-2-33 長さへの回答 (K800漢字)

### <総合日本語クラス(単位有り)>

短期留学生向けの総合日本語クラス初級N101～N301、N411とN511 (文法)、N461とN561 (話す聞く)、N471とN571 (読む書く)、K101～K801 (漢字) の回答結果を図4-2-34～図4-2-50に示す。N101とN511ではさまざまに意見が分かれたが、他のクラスでは「ちょうどいい」という回答が多かった。

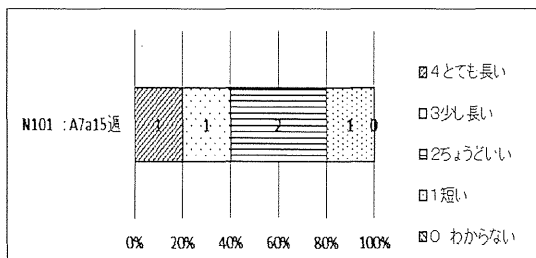


図4-2-34 長さへの回答 (N101)

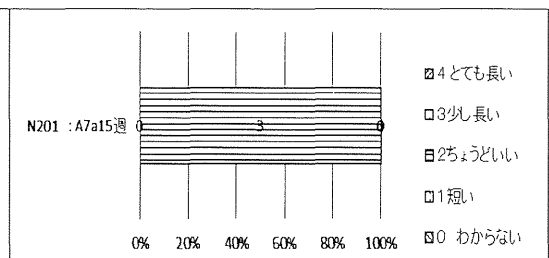


図4-2-35 長さへの回答 (N201)

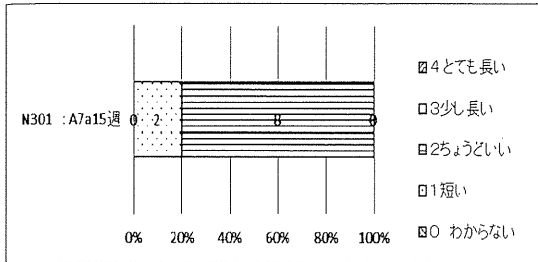


図4-2-36 長さへの回答 (N301)

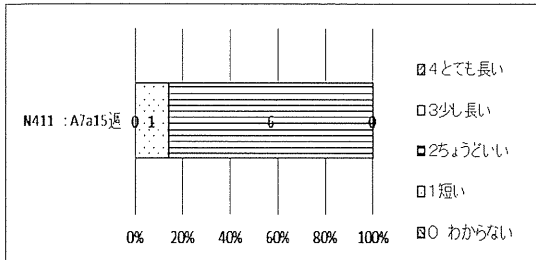


図4-2-37 長さへの回答 (N411文法)

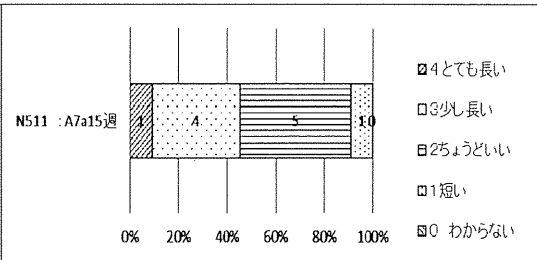


図4-2-38 長さへの回答 (N511文法)

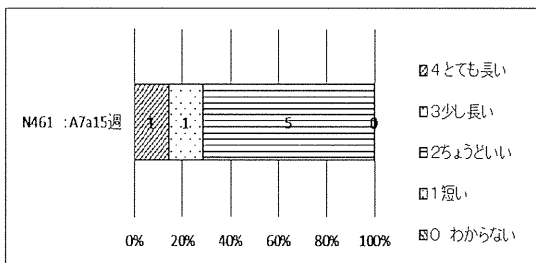


図4-2-39 長さへの回答 (N461話す聞く)

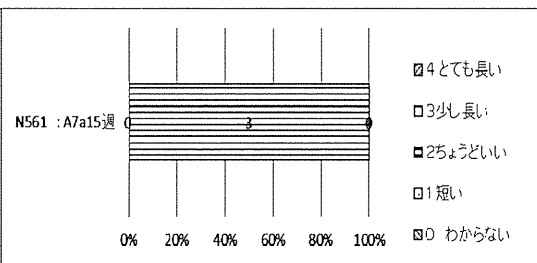


図4-2-40 長さへの回答 (N561話す聞く)

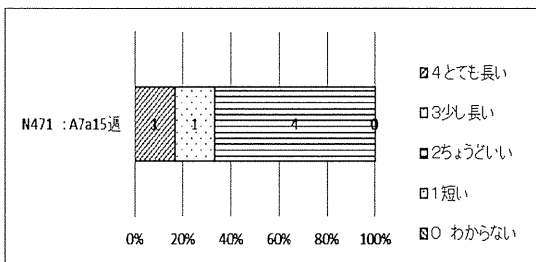


図4-2-41 長さへの回答 (N461読む書く)

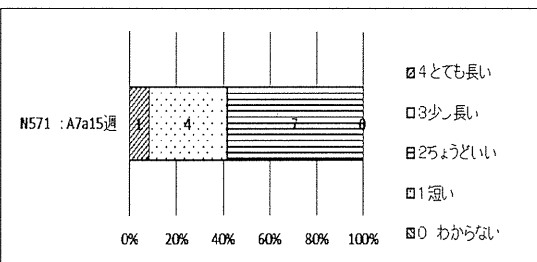


図4-2-42 長さへの回答 (N561読む書く)

漢字クラスでは、K101で「少し長い」と「ちょうどいい」と「短い」が同数、K301で「少し長い」と「ちょうどいい」が同数あったが、回答者数が少ないため、個人的意見の可能性もある。他のレベルでは「ちょうどいい」が多く、K701では「少し長い」という回答も多かった。

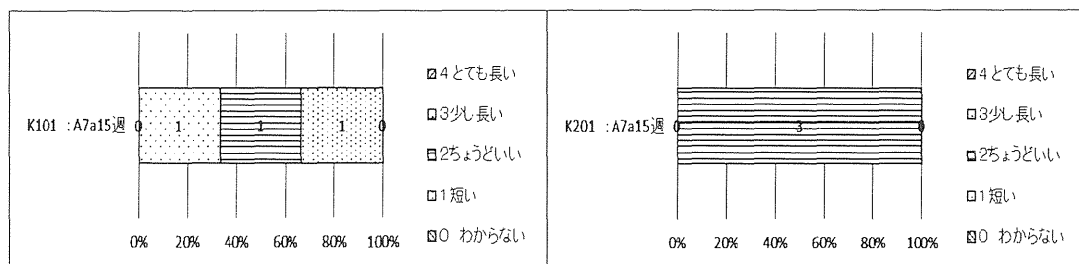


図4-2-43 長さへの回答 (K101漢字)

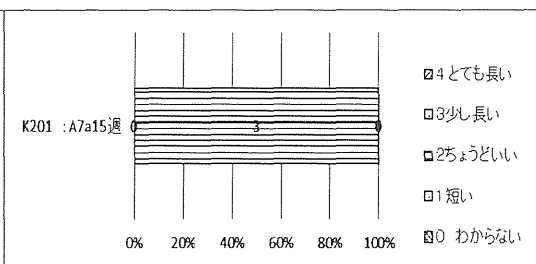


図4-2-44 長さへの回答 (K201漢字)

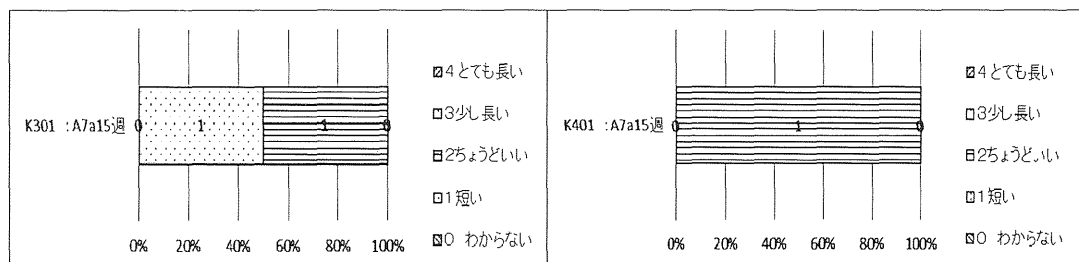


図4-2-45 長さへの回答 (K301漢字)

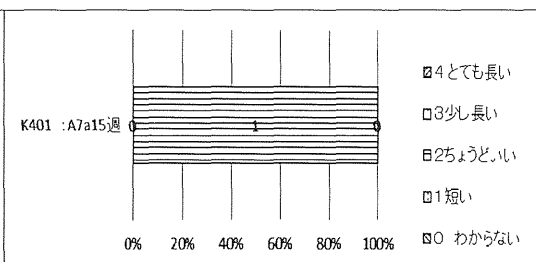


図4-2-46 長さへの回答 (K401漢字)

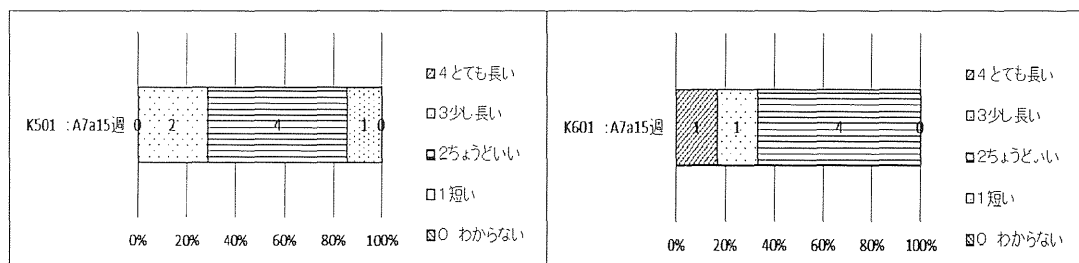


図4-2-47 長さへの回答 (K501漢字)

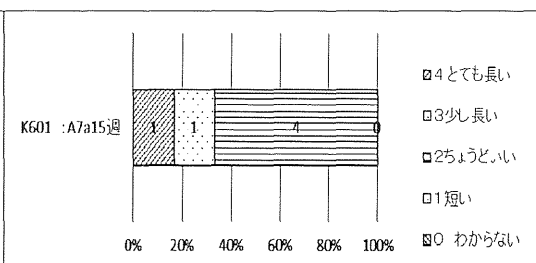


図4-2-48 長さへの回答 (K601漢字)

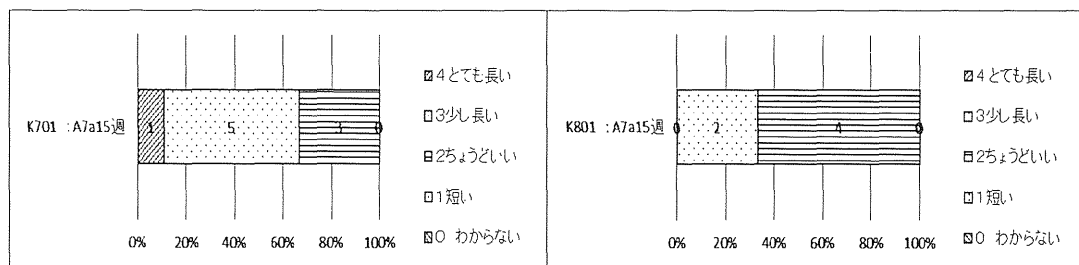


図4-2-49 長さへの回答 (K701漢字)

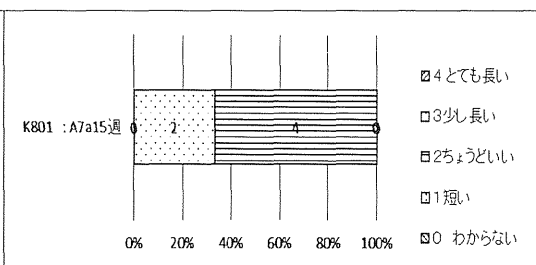


図4-2-50 長さへの回答 (K801漢字)

希望する長さについては、やはり10週が圧倒的多数であったが、N301とN411では15週と10週の希望が同数あった。

#### 4.3 日本語コース・クラスのレベル、満足度に関する回答結果

Bの各コース・クラスの授業のレベルや教材、満足度に関する以下の3つの質問項目に対して、B1については「4 難しい」「3 少し難しい」「2 ちょうどよい」「1 少し簡単」「0 簡単」、B2とB3には「4 とても」「3 だいたい」「2 あまり」「1 ぜんぜん」「0 わからない」の5段階評価を行った。

B1. 授業のレベルはどうでしたか。自分のレベルに合っていましたか。

B2. 教科書や教材は、学びたいことが学べましたか。

B3. 授業に満足しましたか。

最後に、授業についてコメントを自由記述する項目もあったが、本稿の目的は、主に日本語コース全体の授業評価を概観することであるため、自由記述に関してはここでは取り上げない。

##### 4.3.1 初級の補講日本語コースの結果

J100～J300の初級コースの学習者によるBの3項目についての回答結果を図4-3-1～図4-3-3に示す。

J100では、レベルは「ちょうどよい」が多いものの、「少し難しい」「少し簡単」「簡単」という意見も見られた。J200とJ300では、「ちょうどよい」が大半を占めた。教材・教科書および授業の満足度は、下のレベルほど高く、J200、J300になるにつれ、意見が分かれている。

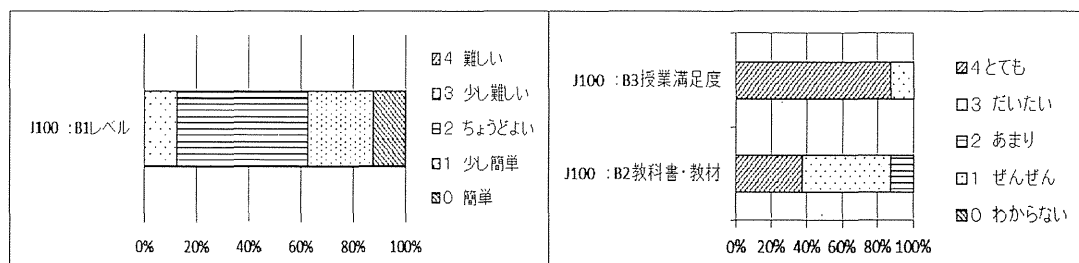


図4-3-1 レベル・教材・満足度 (J100)

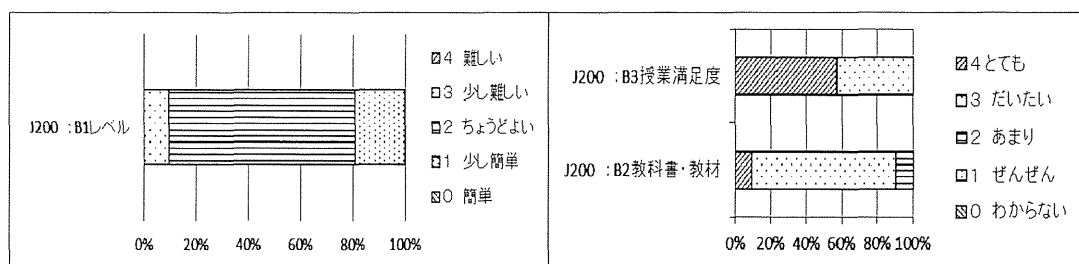


図4-3-2 レベル・教材・満足度 (J200)



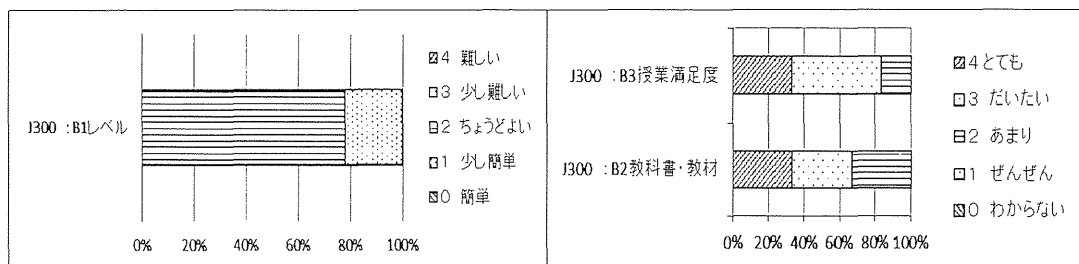


図4-3-3 レベル・教材・満足度 (J300)

#### 4. 3. 2 中上級の補講技能別クラスの結果

##### ＜中上級「文法」クラス＞

セクション B の質問項目に対する J510 (31名)、J610 (43名)、J710 (32名)、J810 (17名) の文法クラスの回答結果は、図4-3-4～図4-3-7のようになった。

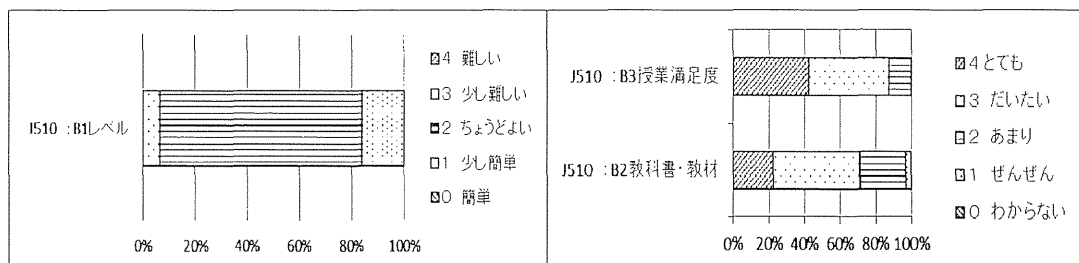


図4-3-4 レベル・教材・満足度 (J510文法)

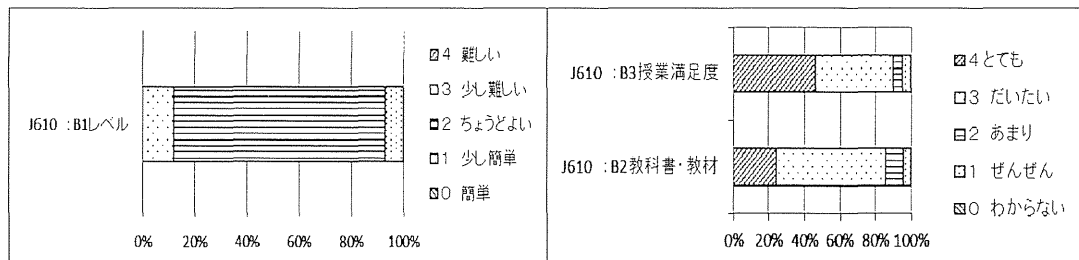


図4-3-5 レベル・教材・満足度 (J610文法)

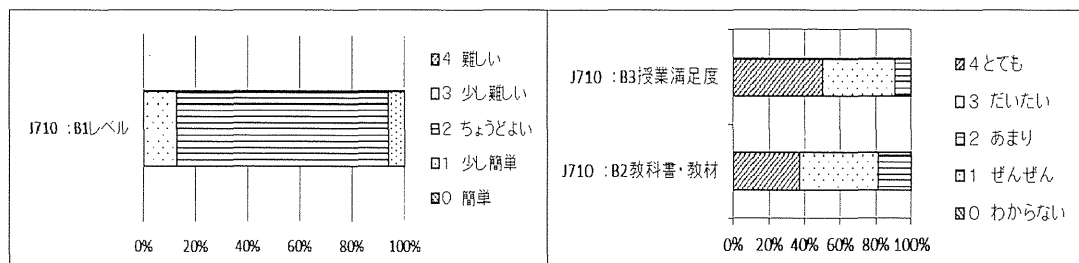


図4-3-6 レベル・教材・満足度 (J710文法)

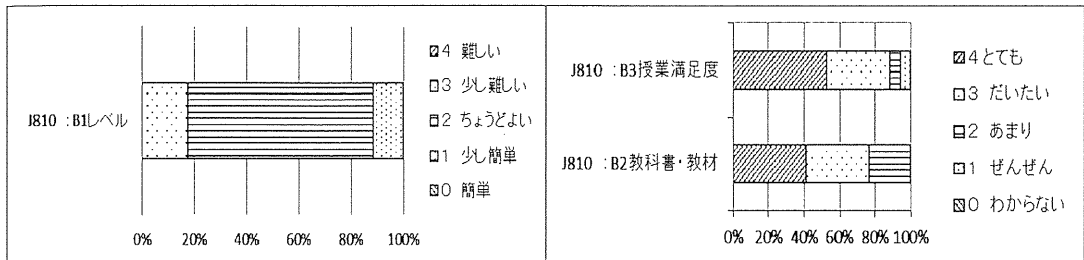


図4-3-7 レベル・教材・満足度(J810文法)

文法クラスは、受講者数も回答者数も多く、レベルについての回答は、総じて「ちょうどよい」が多かった。教材・教科書および授業の満足度も高く、否定的な回答は、若干見られただけである。

#### ＜中上級「話す」クラスと「聞く」クラス＞

J460話す・聞く (18名)、J520話す (15名)、J620話す (8名)、J720話す (7名)、J821話す (1名)、およびJ530聞く (21名)、J630聞く (26名)、J730聞く (12名)、J830聞く (9名)の回答結果を図4-3-8～図4-3-16に示す。

中上級の「話す」では、すべてのクラスにおいて、レベルは「ちょうどよい」が多かった。(800レベルは回答者が1名のみだったので、個人的意見とみなす。)教材と授業の満足度については、J420とJ520では肯定的評価と否定的評価の両方が見られるが、J620、J720とレベルが上がるにつれて満足度が上がっているのが分かる。

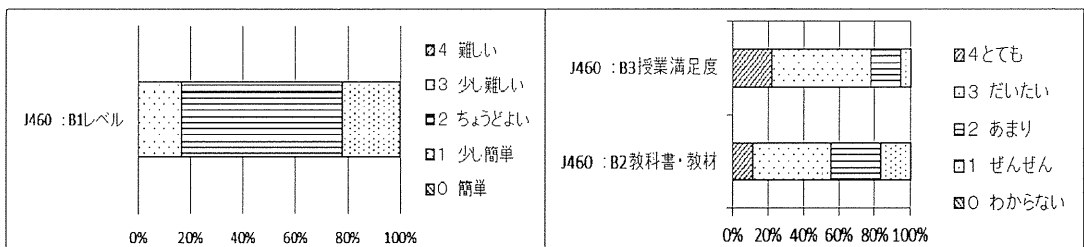


図4-3-8 レベル・教材・満足度(J460話す聞く)

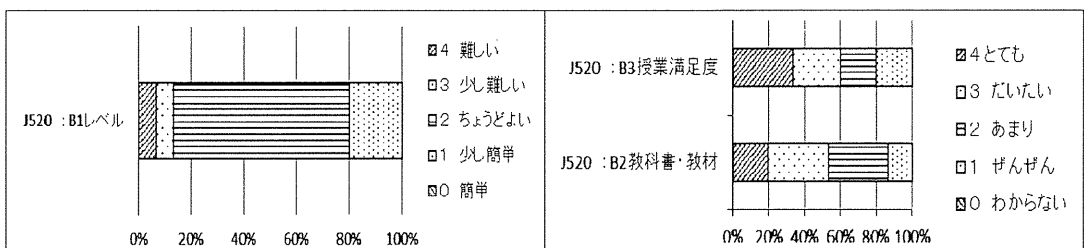


図4-3-9 レベル・教材・満足度(J520話す)

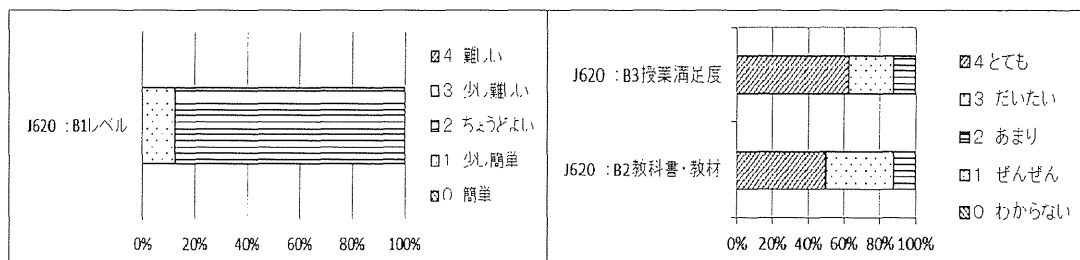


図4-3-10 レベル・教材・満足度 (J620話す)

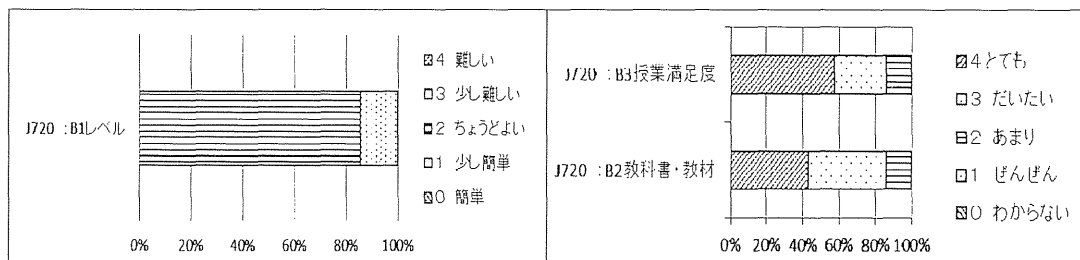


図4-3-11 レベル・教材・満足度 (J720話す)

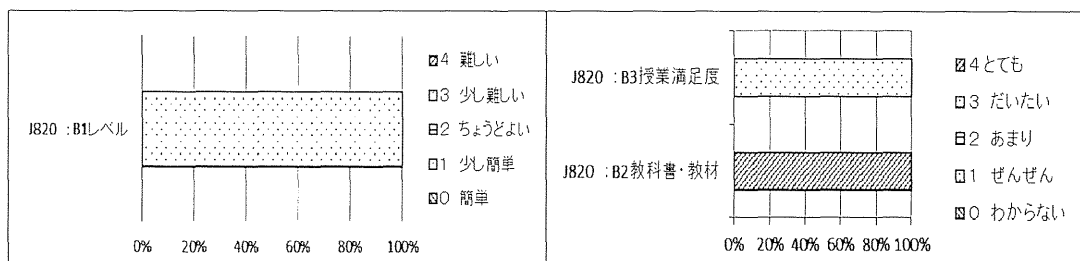


図4-3-12 レベル・教材・満足度 (J820話す)

一方、中上級の「聞く」クラスでは、J530～J730までは「ちょうどよい」が大半を占めているが、J830になると「難しい」と「少し難しい」が増えている。また、授業の満足度についてはどのレベルでも肯定的評価の方が多いが、教材に関しては、J530～J730に「あまり」という回答が見られる点に注意する必要があるだろう。

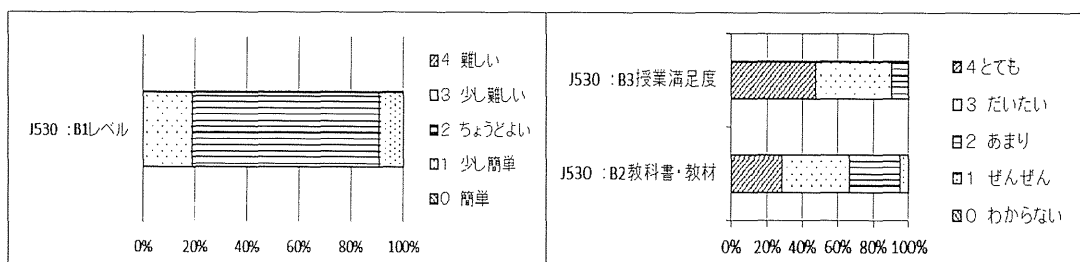


図4-3-13 レベル・教材・満足度 (J530聞く)

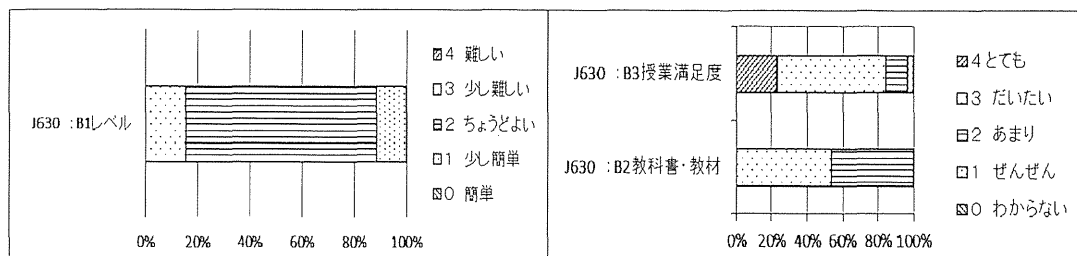


図4-3-14 レベル・教材・満足度 (J630聞く)

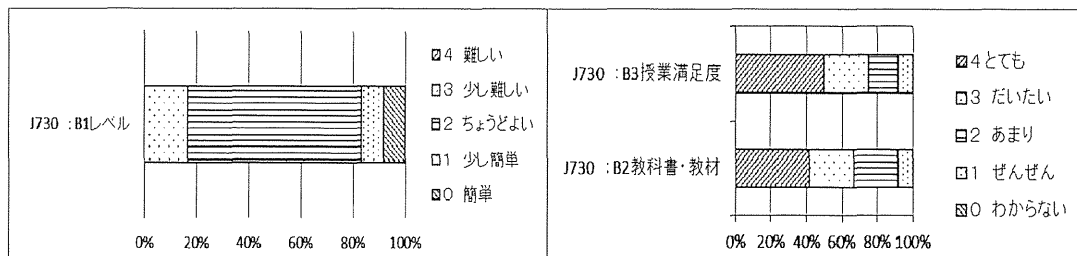


図4-3-15 レベル・教材・満足度 (J730聞く)

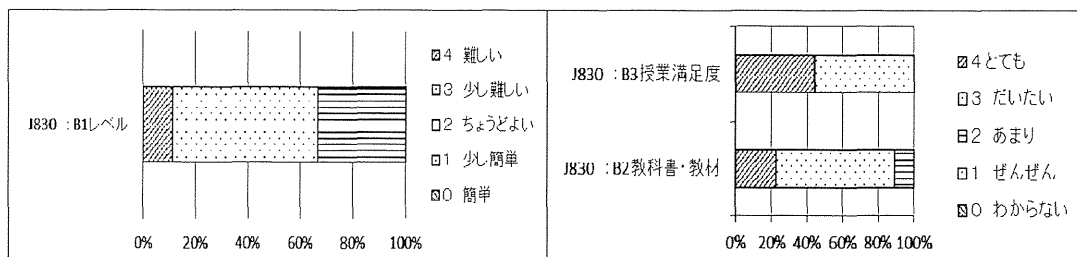


図4-3-16 レベル・教材・満足度 (J830聞く)

### <中上級「読む」クラスと「書く」クラス>

J470読む・書く (15名)、J540読む (16名)、J640読む (13名)、J740読む (8名)、J840読む (5名)、およびJ550書く (25名)、J650書く (22名)、J750書く (13名)、J850書く (4名) の回答結果を図4-3-17～図4-3-24に示す。

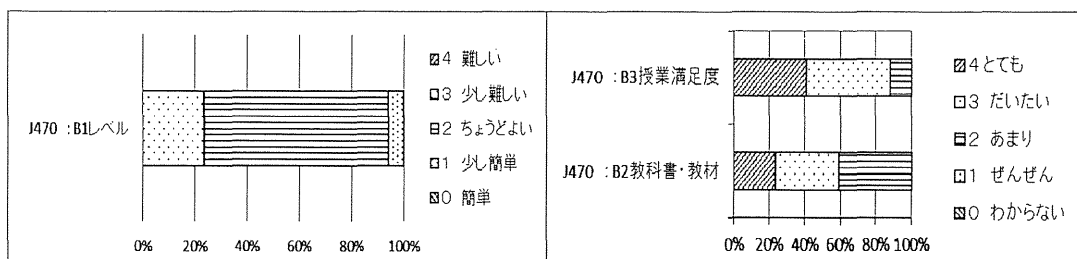


図4-3-17 レベル・教材・満足度 (J470読む書く)

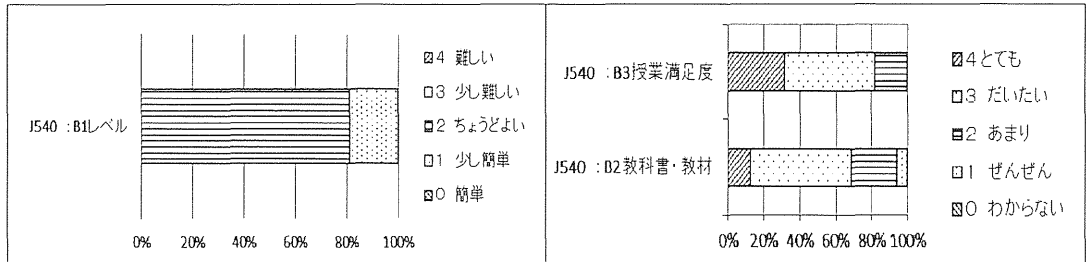


図4-3-18 レベル・教材・満足度 (J540読む)

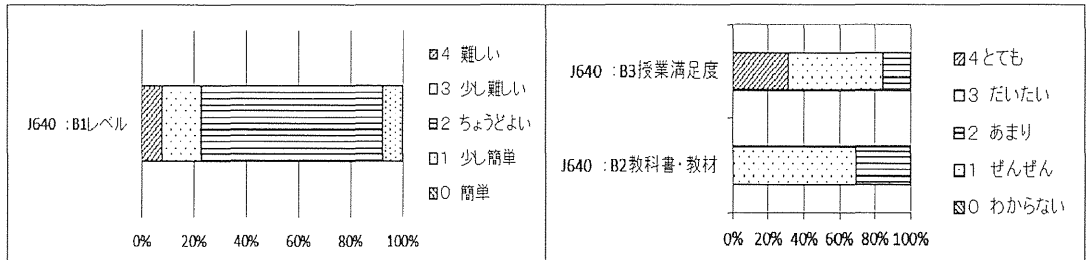


図4-3-19 レベル・教材・満足度 (J640読む)

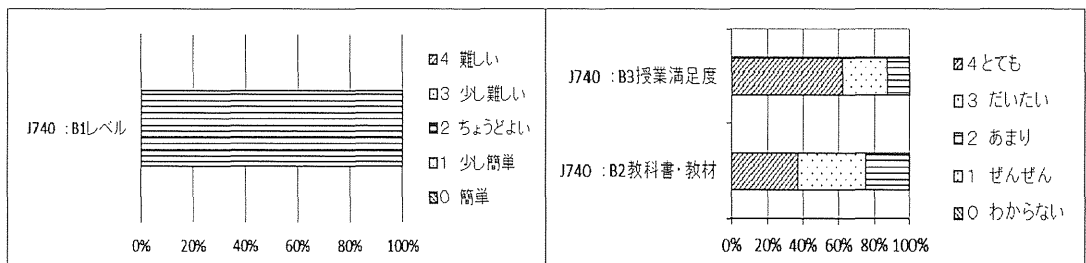


図4-3-20 レベル・教材・満足度 (J740読む)

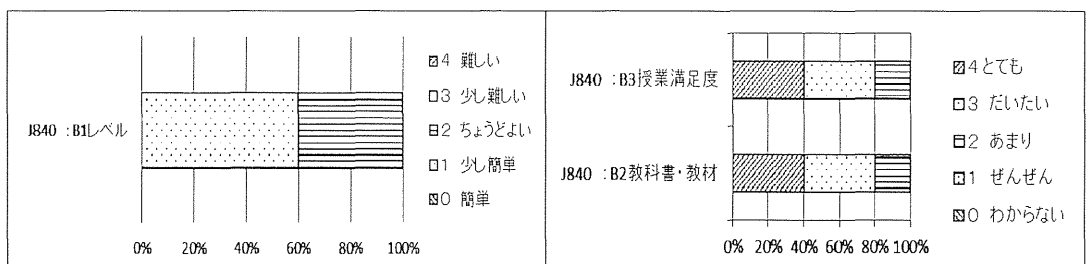


図4-3-21 レベル・教材・満足度 (J840読む)

中上級の「読む」では、400～700のすべてのレベルにおいて「ちょうどよい」が最も多かったが、J840では「少し難しい」の方が若干多かった。授業の満足度については、すべてのレベルで肯定的評価が多かったが、教材に関しては、「あまり」という回答も見られた。一方、中上級の「書く」クラスでは、500～800のすべてのレベルにおいて「ちょうどよ

い」が圧倒的に多かった。また、授業と教材の満足度についても、総じて肯定的評価が多く、特にJ850では否定的評価は全く見られなかった。ただ、J550とJ750においては、授業と教材の満足度の両方に「あまり」という回答が若干見られたことに注意する必要がある。

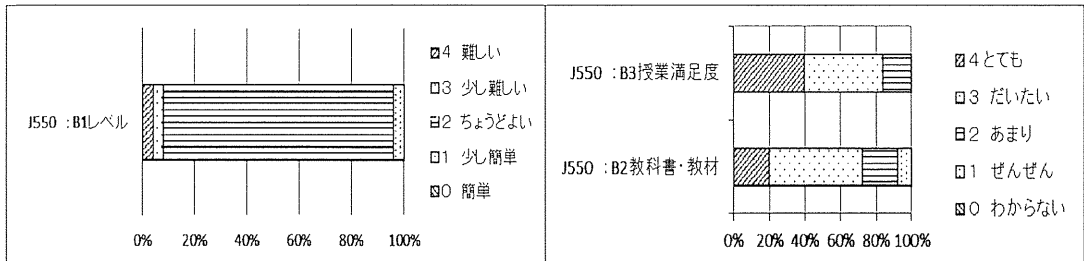


図4-3-22 レベル・教材・満足度 (J550書く)

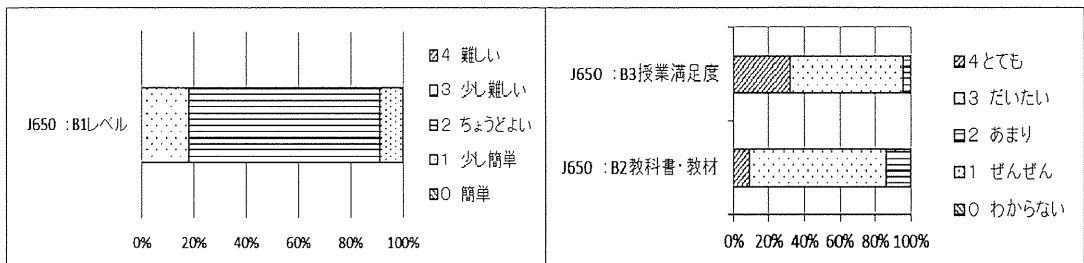


図4-3-23 レベル・教材・満足度 (J650書く)

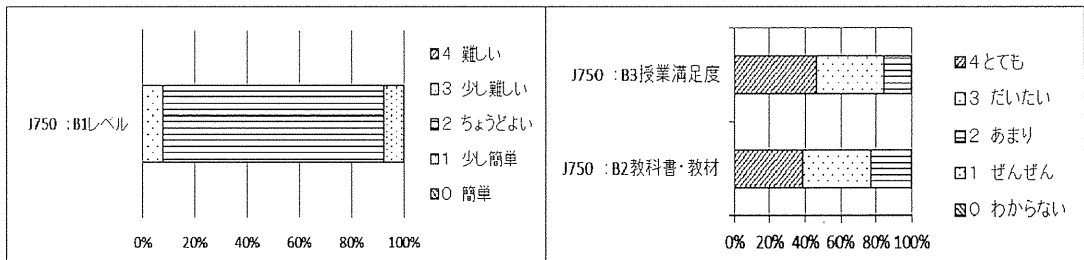


図4-3-24 レベル・教材・満足度 (J750書く)

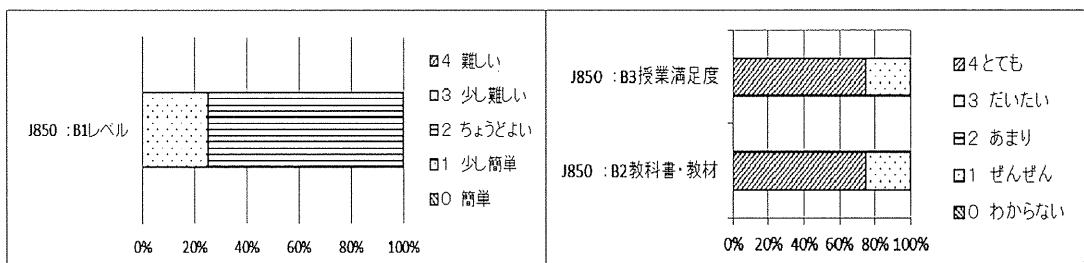


図4-3-25 レベル・教材・満足度 (J850書く)

### ＜漢字クラス＞

K100 (4名)、K200 (10名)、K300 (6名)、K400 (11名)、K500 (8名)、K600 (18名)、K700 (10名)、K800 (7名) の漢字クラスの回答結果を図4-3-26～図4-3-33に示す。漢字クラスでも、レベルについては「ちょうどよい」という回答が多かったが、K100では「少し難しい」と「少し簡単」が同じくらいあり、このレベルの指導の難しさが窺われた。K300

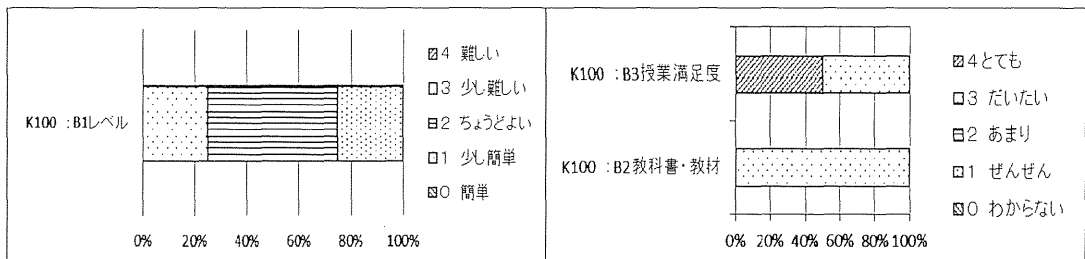


図4-3-26 レベル・教材・満足度 (K100漢字)

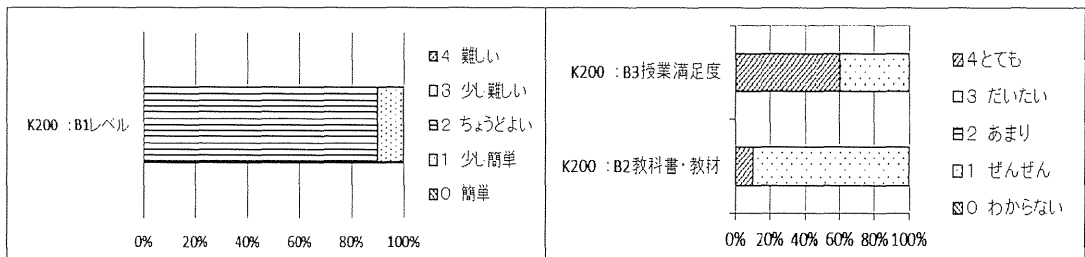


図4-3-27 レベル・教材・満足度 (K200漢字)

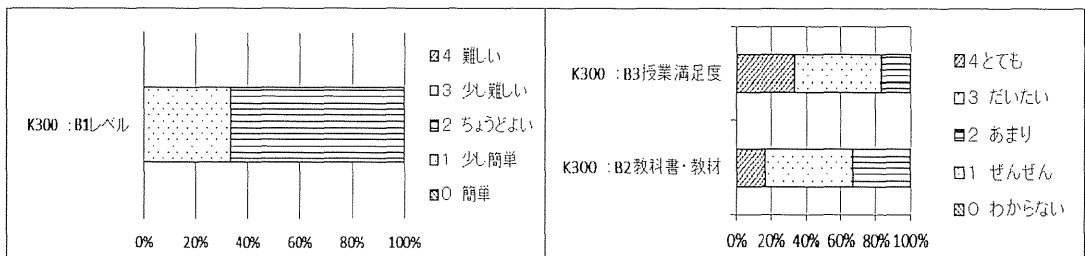


図4-3-28 レベル・教材・満足度 (K300漢字)

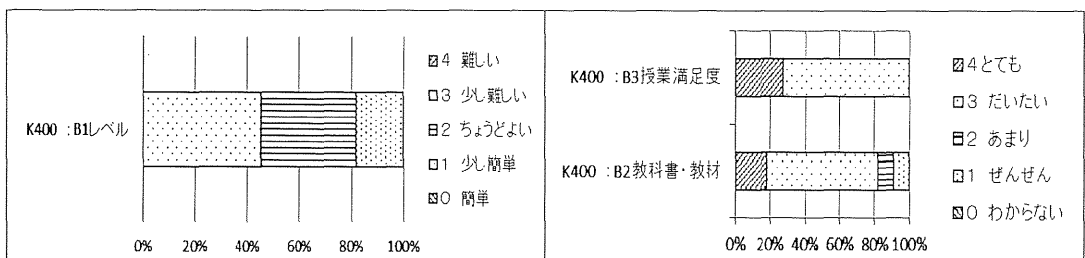


図4-3-29 レベル・教材・満足度 (K400漢字)

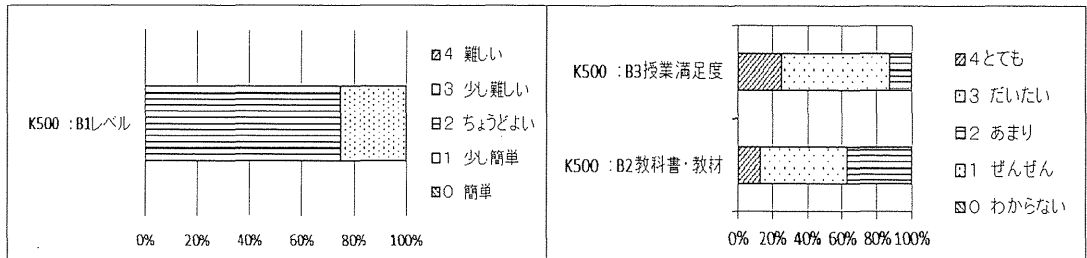


図4-3-30 レベル・教材・満足度 (K500漢字)

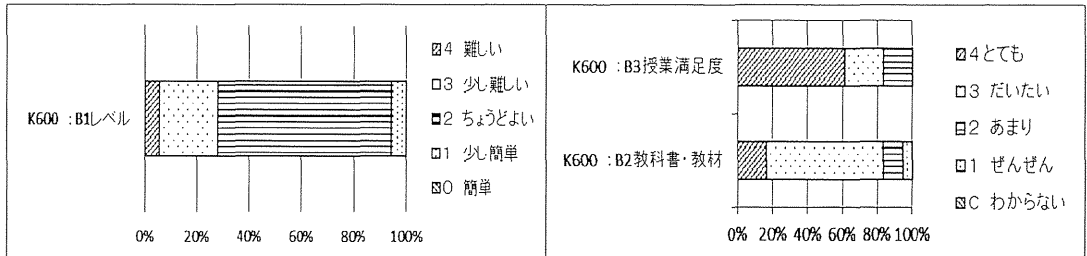


図4-3-31 レベル・教材・満足度 (K600漢字)

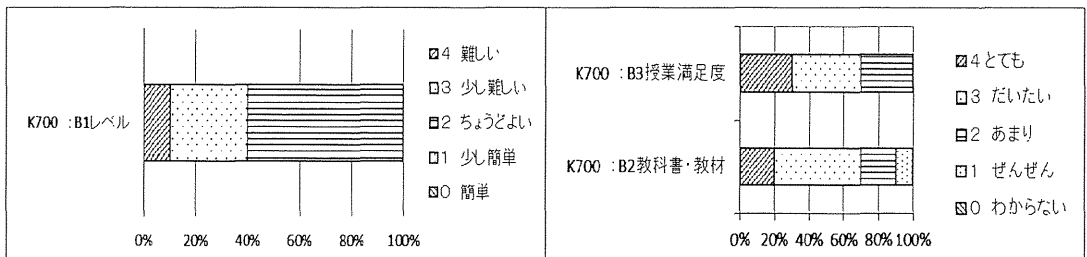


図4-3-32 レベル・教材・満足度 (K700漢字)

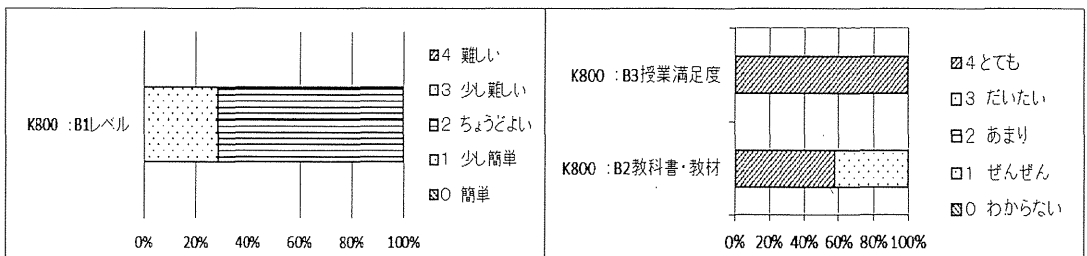


図4-3-33 レベル・教材・満足度 (K800漢字)

でも同様の傾向が見られた。しかし、K500とK700レベルで、4.1の授業内容の質問項目において見られたような評価のばらつきはなかった。

漢字の授業および教材に関する満足度は、K100、K200、K400、およびK800において高かったが、K300、K500、K600、K700の各レベルでは、「あまり」「ぜんぜん」という回答も見られたことに注意する必要がある。



目的別クラスについては、目的を重視し、日本語のレベル設定は厳密に行わなかったため、「ちょうどよい」のほかに、「少し難しい」と「少し簡単」という意見が見られたクラスもあったが、授業や教材への満足度は総じて高かった。

#### 4. 3. 3 短期留学生向けの日本語科目に関する回答結果

初級のN101 (5名)、N201 (3名)、N301 (10名)と、中上級の文法クラスN411 (7名)とN511 (11名)、話す・聞くN461 (7名)とN561 (3名)、読む・書くN471 (6名)とN571 (11名)の回答結果を図4-3-34～図4-3-42に示す。

初級の総合日本語コースN101では、「ちょうどよい」のほかに「難しい」と「少し簡単」という回答も見られ、受講生の間にレベル差があったことが窺われるが、授業と教材に関する満足度は高かった。N201では「少し簡単」が増え、授業と教材に関して「あまり」満足していないという回答が増えている。N301では「少し簡単」が「ちょうどよい」を抜いて最も多くなっており、授業と教材に関する満足度にも「あまり」という回答が見られた。

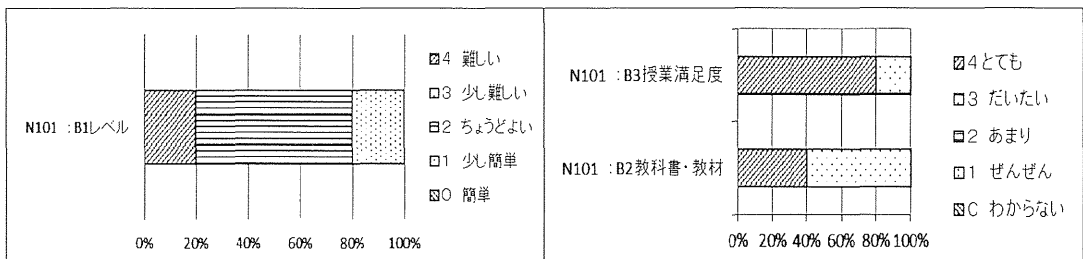


図4-3-34 レベル・教材・満足度 (N101)

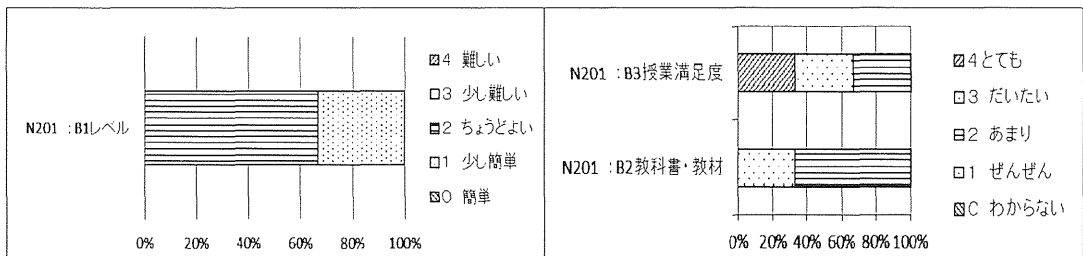


図4-3-35 レベル・教材・満足度 (N201)

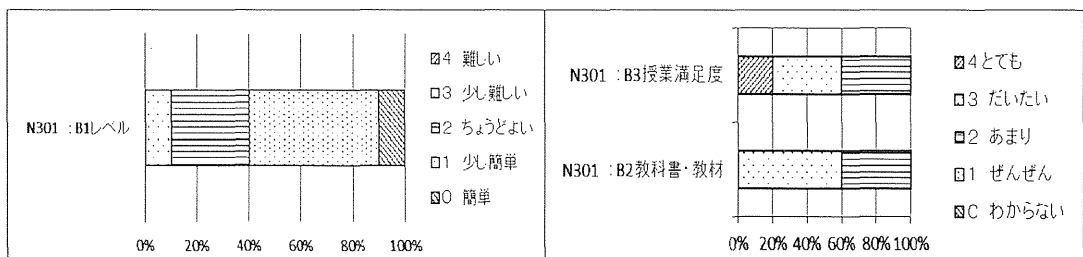


図4-3-36 レベル・教材・満足度 (N301)

中上級の文法クラスN411とN511では、レベルに関して「少し簡単」という回答が多かったが、話す・聞くクラスN461とN561、および読む・書くクラスN471とN571では、「ちょうどよい」という回答が圧倒的に多かった。

中上級において授業と教材に関する満足度は総じて高く、特に話す・聞くN561は高かった。しかしながら、文法のN411とN511で教材に関して「あまり」という否定的回答が少し見られたこと、話す・聞くN461、読む・書くN471とN571で授業に関する満足度に「あまり」という回答が見られたことは注意を要するだろう。N571では教材に関しても「あまり」という回答が見られた。

2013年度春学期に来日した短期留学生の人数は多くなかったが、初級より中上級の方が多く、偏りがあったため、各レベルに適正人数を配置することが難しく、事前に想定していた教材が易しすぎるなどの問題も発生したため、急遽学生のレベルに合わせて教材を選び直す必要が生じた。今後も短期留学生向け科目については、学期毎に調整が必要となることが予想される。

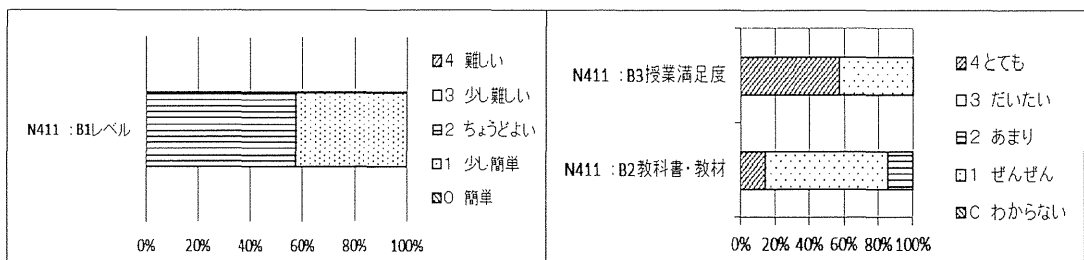


図4-3-37 レベル・教材・満足度 (N411文法)

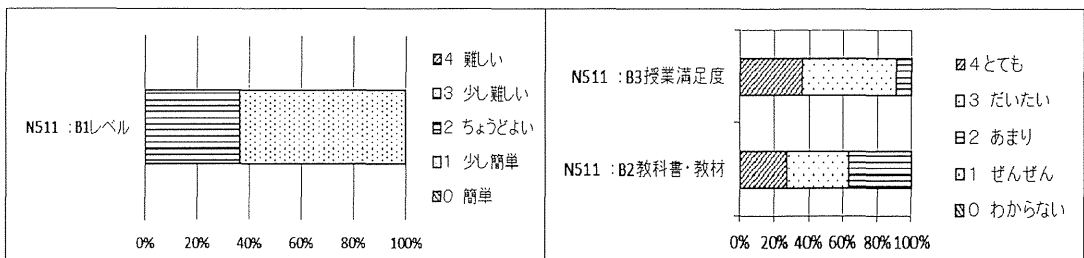


図4-3-38 レベル・教材・満足度 (N511文法)

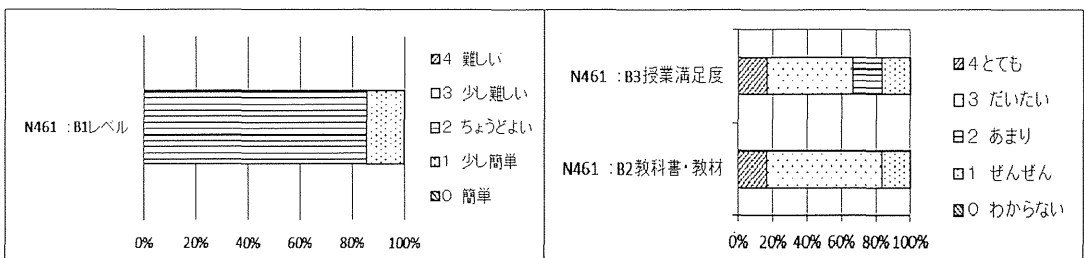


図4-3-39 レベル・教材・満足度 (N461話す聞く)

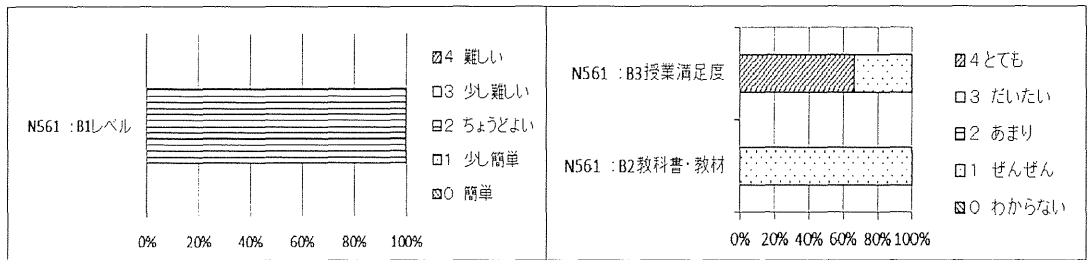


図4-3-40 レベル・教材・満足度 (N561話す聞く)

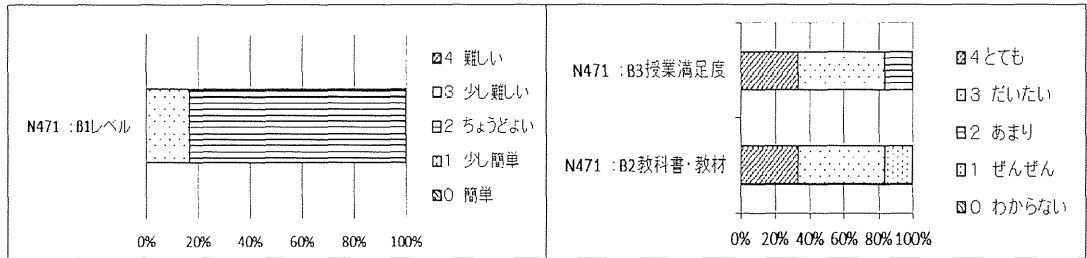


図4-3-41 レベル・教材・満足度 (N471読む書く)

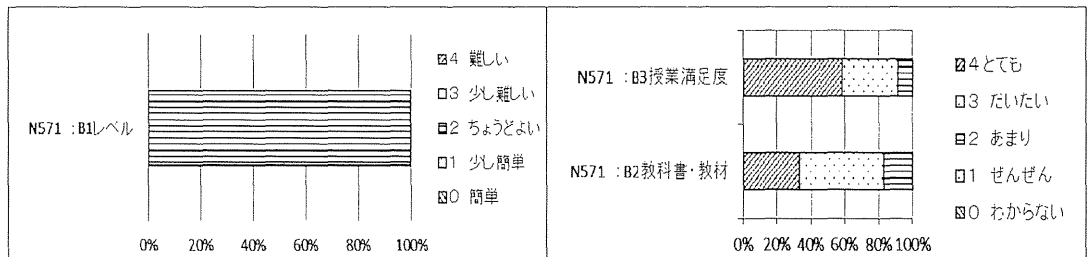


図4-3-42 レベル・教材・満足度 (N571読む書く)

短期留学生向けの単位有り漢字クラスK101 (3名)、K201 (3名)、K301 (2名)、K401 (1名)、K501 (7名)、K601 (6名)、K701 (9名)、K801 (5名) の回答結果を図4-3-43～図4-3-50に示す。

K101では、レベルに関して「少し簡単」という回答が多く見られたが、K201では「ちょうどよい」が増え、K301では、「少し難しい」と「ちょうどよい」が半々であった。(K401は回答者が1名であるため、個人的意見として扱う。) K501では、また「少し簡単」という回答が多く見られたが、K601とK701では「ちょうどよい」が圧倒的で、K801になると、「ちょうどよい」が半分と「難しい」「少し難しい」が半分となっている。

授業に関する満足度は、初級については総じて高く、上級のK801でも高かった。しかしながら、K501、K601、K701で教材に関して「あまり」という否定的回答が少し見られた。また、教材に関する満足度については、どのレベルでも「あまり」という回答が見られたことに注意する必要があるだろう。特に、K501とK701では、否定的評価の方が若干多くなっており、その理由についてさらなる検討が必要になると思われる。

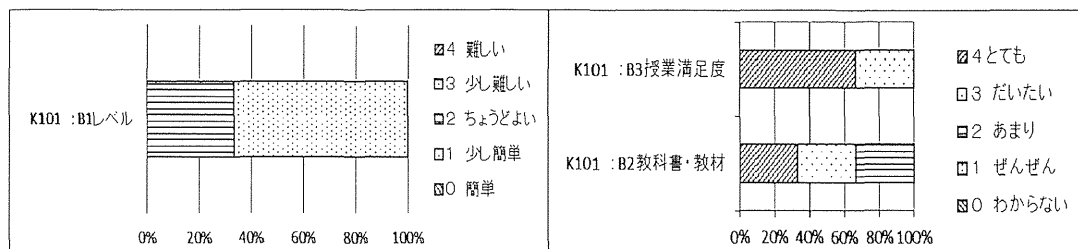


図4-3-43 レベル・教材・満足度 (K101漢字)

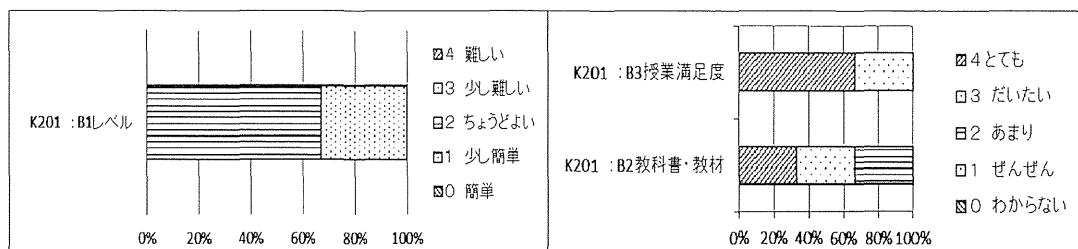


図4-3-44 レベル・教材・満足度 (K201漢字)

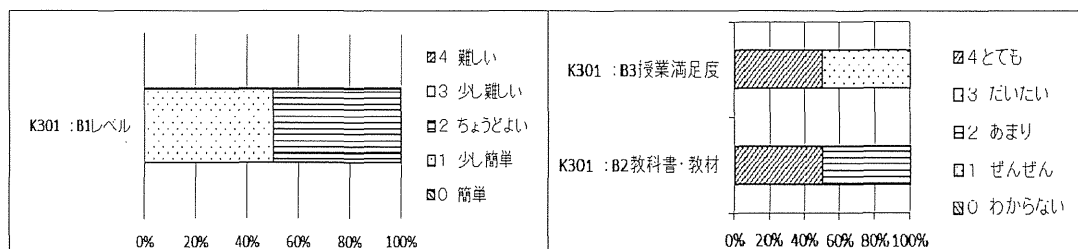


図4-3-45 レベル・教材・満足度 (K301漢字)

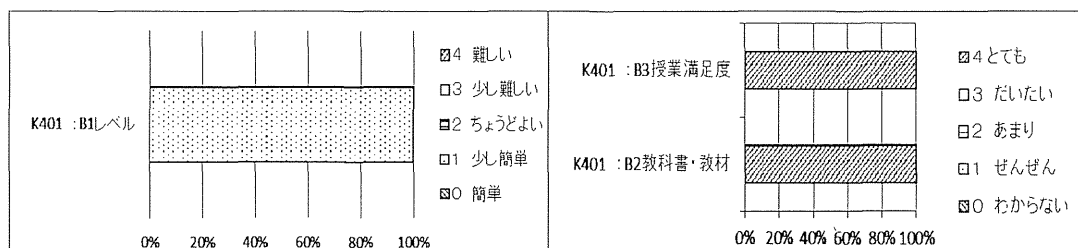


図4-3-46 レベル・教材・満足度 (K401漢字)

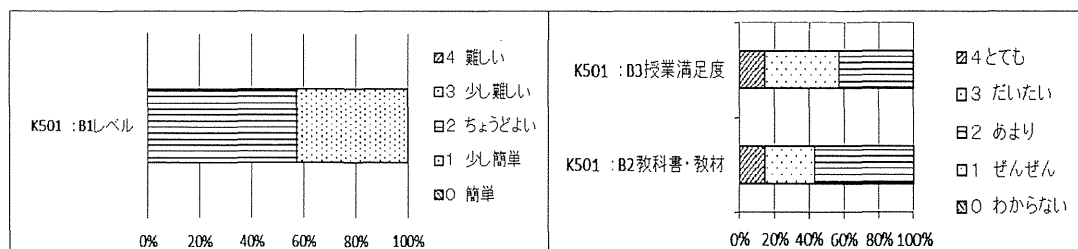


図4-3-47 レベル・教材・満足度 (K501漢字)

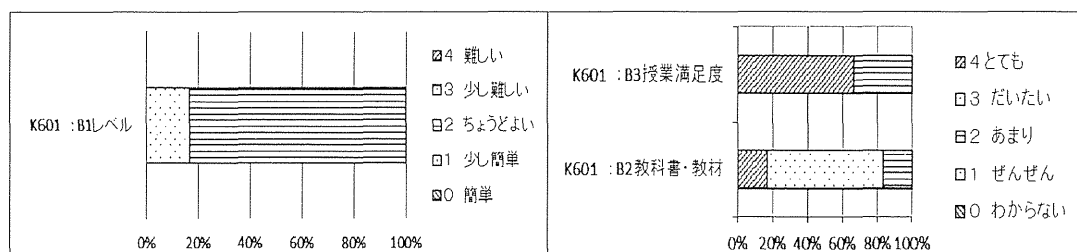


図4-3-48 レベル・教材・満足度 (K601漢字)

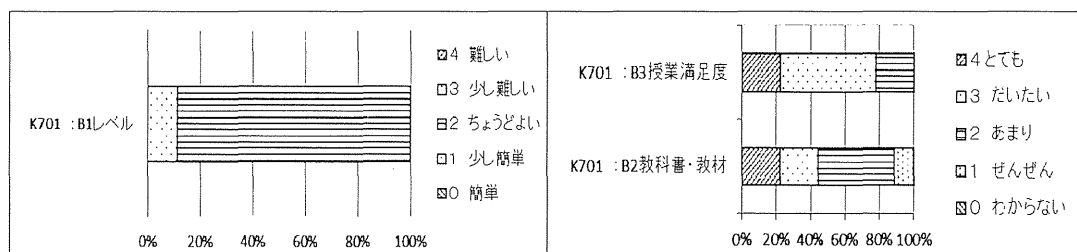


図4-3-49 レベル・教材・満足度 (K701漢字)

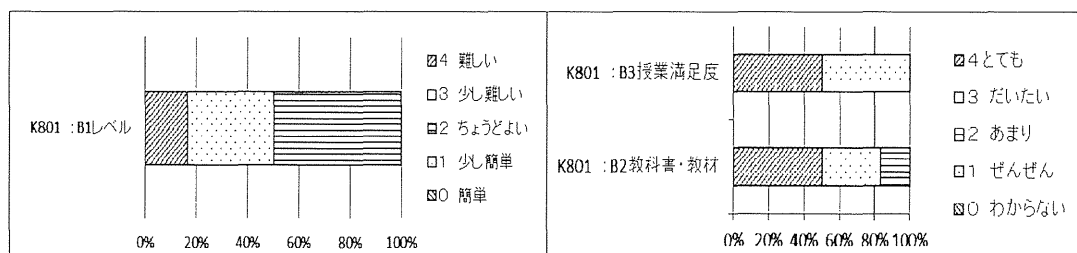


図4-3-50 レベル・教材・満足度 (K801漢字)

## 5. まとめ

本稿では、授業評価アンケートの結果について、(1)各授業の内容、(2)コースの長さ、(3)レベル、教材、授業の満足度の3つに分けて検討した。また、補講日本語科目(単位なし)と、短期留学生向けの総合日本語科目(単位有り)とに分けて結果を概観し、それぞれ初級と中上級というレベルの観点と、話す、聞く、読む、書く、文法、漢字という技能別の観点から報告した。

各授業の内容については、どのレベル、どの技能のクラスにおいても、シラバス・スケジュール、宿題、テスト・クイズ、教え方、成績評価、日本語の上達に役立ったかどうかの各項目に関して否定的な回答は少数であり、大多数の受講者は肯定的な評価をしていることが分かった。留学生センターで教えている教員の教授能力の高さ、および日々の教育への努力が認められていると解釈できよう。しかし、シラバス・スケジュールや教え方に関する評価の高さに比べると、テスト・クイズや成績評価については、レベルやクラスに

よって理解度に差があることも明らかになった。今後さらなる改善を要するところであろう。また、レベルや技能によって若干の評価の散らばりが観察された。初級レベルにおける読み書き力の不足を中上級に向かいたいに補っていくか、また受講者の能力差に対処するためにどのようにすればよいか、などを考える必要があると思われる。

日本語コースの期間に関しては、どのレベル、どの技能のクラスにおいても、15週を「ちょうどいい」とする回答が多数を占めていた。しかしながら、どのくらいの長さを希望するかという質問には「10週」という回答が圧倒的に多かった。2012年度までの10週の授業体制に慣れていたためとも考えられるが、実際に春学期には、ABモジュールの10週を終わった後、Cモジュールで出席しなくなる学生も目立ったことから、この問題については、さらなる検討が必要であろう。

授業のレベルが自分に合っていたか、テキストや教材でうまく学ぶことができたか、この授業に満足しているか、という項目について、大多数の回答者の意見は肯定的なものであった。ただ、授業に対する満足度が高い場合でも、教材については「あまり」という回答が見られたケースもあったことから、さらなる検討と改善への努力が必要であろうことが示唆された。

このように今年度の調査結果から得られた情報は、来年度からの教育の改善に生かしていくことが期待される。2014年度はさらに短期留学生の受入れ数が増えることが予想されており、短期留学生向けの単位有り科目のレベルを増やすとともに、授業内容についても新たに設定しなおす方針である。しかしその一方で、補講の目的別クラスは、残念ながら大幅に縮小せざるを得ないことになっている。

また、本稿では、目的別クラスでの調査結果と自由記述などに現れた個々の問題については取り上げることができなかった。これらについては、各授業の担当教員が個別に検討し、授業改善などに役立てていくことが望まれる。

**謝辞：**この授業評価アンケート調査紙の回収に当たっては、留学生交流課の非常勤職員吉野雅量氏と谷口結香氏の協力を得た。また、結果データの入力、谷口結香氏によるものである。ここに記して感謝の意を表したい。

## 注

1. 2004年度の日本語プログラムの改編に関する詳細は加納（2005）、2007年度の改編の詳細は加納（2008）を参照のこと。
2. 2012年度1学期末に行われた授業評価アンケートについての詳細は、加納（2013）を参照されたい。
3. 2012年度の授業評価アンケートのAにあった4つの質問は、筑波大学の学類の全授業

を対象に行われているコンピュータによる共通の授業評価5項目の中から「授業実施」に関する質問を外したものであった。今年度の調査の主な目的は、授業実施期間が10週から15週に変わったことによる影響をみることであったため、アンケート項目から外した。

4. 2013年度に開講された目的別日本語クラスの担当は以下のようであった。

- A911A/B アカデミック(論文構成) : 沖田
- A912A/B アカデミック(言語学) : 今井
- A913A/B アカデミック(口頭発表) : 堀
- A914A/B アカデミック(研究計画) : 中山
- B921A/B ベーシック(仮名) : 関
- B922A/B ベーシック(会話) : 高橋
- B923A/B ベーシック(発音) : 小野寺
- C931A/B キャリア(就職支援:英語) : 鈴木(華)
- C932A/B キャリア(就職支援:日本語) : 鈴木(華)
- C933A/B キャリア(ビジネス日本語) : 鈴木(華)
- S941A/B 社会文化(小説) : 小野寺
- S942A/B 社会文化(コロケーション) : 小野
- S943A/B 社会文化(演劇) : 柳田

#### 参考文献

- 加納千恵子 (2005) 「日本語教育の多目的化およびモジュール化 ―2004年度留学生センター日本語プログラムの再編報告―」『筑波大学留学生センター日本語教育論集』20 : 93-108
- 加納千恵子 (2008) 「2007年度日本語補講コースの改編報告 ―カリキュラムの改編と技能別シラバスの整備―」『筑波大学留学生センター日本語教育論集』23 : 135-146
- 加納千恵子 (2013) 「留学生センターの日本語補講コースにおける授業評価 ―2012年1学期の授業評価アンケート報告―」『筑波大学留学生センター日本語教育論集』28 : 365-392